

**令和6年度（第2回）
福岡市総合図書館運営審議会**

日時：令和7年1月15日（水）

午前10時

場所：福岡市総合図書館 第1会議室

〔次第〕

議題

- ・次期福岡市総合図書館基本的運営方針について（課題整理、方向性を協議）

〔資料〕

資料1 次期福岡市総合図書館基本的運営方針について（案）

別紙1 福岡市の人口構成について

別紙2 令和6年度市政に関する意識調査（図書館）の調査結果

別紙3 福岡市総合図書館新ビジョン（第1次ビジョン）の成果について

別紙4 成果指標及び目標数値の推移について

別紙5 福岡市総合図書館の現状と課題

別紙6 全国の公共図書館の利用状況について

別紙7 政令市図書館の利用状況について

福岡市総合図書館運営審議会委員名簿

任期：令和6年7月9日から令和8年7月8日まで

委嘱区分	氏 名	役 職 名
学校教育 関係者	木下 博子	福岡市立小田部小学校校長
	森 正隆	福岡市立玄洋中学校校長
	星子 奈美	九州大学附属図書館 利用者サービス課図書館専門員 (学術サポート室担当)
社会教育 関係者	倚松 満	福岡市七区男女共同参画協議会代表
	貞包 俊晴	福岡市公民館館長会 副会長
	上村 篤子	福岡市社会教育委員
家庭教育 関係者	白川 義人	福岡市PTA協議会 副会長
読書活動 団体関係者	西 聡子	福岡おはなしの会代表
学識 経験者	矢崎 美香	九州女子大学人間科学部 准教授
	白根 恵子	佐賀女子短期大学 名誉教授
	藤村 興晴	BOOKUOKA実行委員会 委員・事務局長
	脇山 真治	九州大学 名誉教授
本市の 住民	田中 優	公募委員
	藤 政江	公募委員

次期福岡市総合図書館基本的運営方針について(案)

1. 名称

福岡市総合図書館ビジョン（第2次）（以下「第2次ビジョン」という。）とする。
なお、現行の福岡市総合図書館新ビジョンを「第1次ビジョン」とみなす。

2. 取組期間

令和8年度（2026年度）から令和17年度（2035年度）までの10年間とする。

3. ビジョンの位置付け

第2次ビジョンは、平成26年6月に策定した「福岡市総合図書館新ビジョン」（以下「第1次ビジョン」という。）の後継となる方針で、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」（平成24年12月19日文部科学省告示第172号）において策定が努力義務とされる「基本的運営方針」と位置付ける。

また、「第10次福岡市基本計画」（令和7年度～）及び現在策定作業中の「第3次福岡市教育振興基本計画」（令和7年度～）を上位計画とし、「第4次福岡市子ども読書活動推進計画」と連携し、社会を取り巻く環境の変化や新たな課題に対応しながら図書館サービスを推進していくための基本的な方針とする。

4. 策定に向けた視点

(1) 福岡市総合図書館を取り巻く環境

① 福岡市の人口構成について（別紙1）

- 福岡市の人口は2040年まで増加することが予想されている。
- 老年人口の割合は今後継続して増加していく。

② 令和6年度市政に関する意識調査(図書館)の調査結果(暫定版)（別紙2）

- 平均読書冊数は、『月に1冊以上』、「年に数冊程度」、「まったく読まない」がそれぞれ約3割
- 本の入手方法で「店頭購入」が全体の約3/4、図書館利用は約1/4
- 過去3年間に「図書館は利用しなかった」が6割弱
- より魅力的な図書館にするためには、「本の種類や数の充実」（36.0%）、「雰囲気や居心地がよい」（32.9%）等

(2) 第1次ビジョンの振り返り 成果と課題

① 福岡市総合図書館新ビジョン(第1次ビジョン)の成果について（別紙3）

- 前期：返却拠点3か所新設、貸出拠点新設（科学館）、総合図書館の開館時間拡大など

○後期：早良南図書館開館、返却拠点新設（アイランドシティ）、こども図書館リニューアル、電子図書館開設など

② 成果指標及び目標数値の推移について（別紙4）

○貸出利用者数、個人貸出冊数、新規登録者は平成25年度の初期値から減少しており、入館者数も含め、令和7年度目標値とは乖離がある。

③ 福岡市総合図書館の現状と課題（別紙5）

○第1次ビジョンの取り組み、市政意識調査を踏まえて課題を整理。

(3) 公共図書館を取り巻く環境

① 全国の公共図書館の利用状況について(別紙6)

○図書館数、蔵書数は総数としては増加している。

○貸出冊数や貸出利用者数、入館者数は減少傾向。

○「図書館・学校図書館の運営の充実に関する有識者会議」において、これからの図書館・学校図書館の運営に求められる事項について協議が始まっており、その動向を注視。

② 政令市図書館の利用状況について（別紙7）

○蔵書数、貸出冊数など、政令市平均を下回る。

○それぞれ人口1人当たりで算出した場合は、下位に留まる。

5. 第2次ビジョンの体系

目指す図書館像の「基本理念」、基本理念実現に向けた複数の「図書館像」という体系は、第1次ビジョンの枠組みを継続するが、福岡市基本計画等との整合や近年のICT化の急速な進展という社会変化等を踏まえた観点から、具体的な理念等には必要な見直しを図る。

6. 事業計画及び成果指標等

第2次ビジョンの着実な推進を図るため、各図書館像を実現するための具体的な施策、事業については、「5年ごとの個別の事業計画」を別途策定する。

各事業計画においては、成果を分かりやすく示すため必要に応じて、成果指標及び数値目標を設定する。

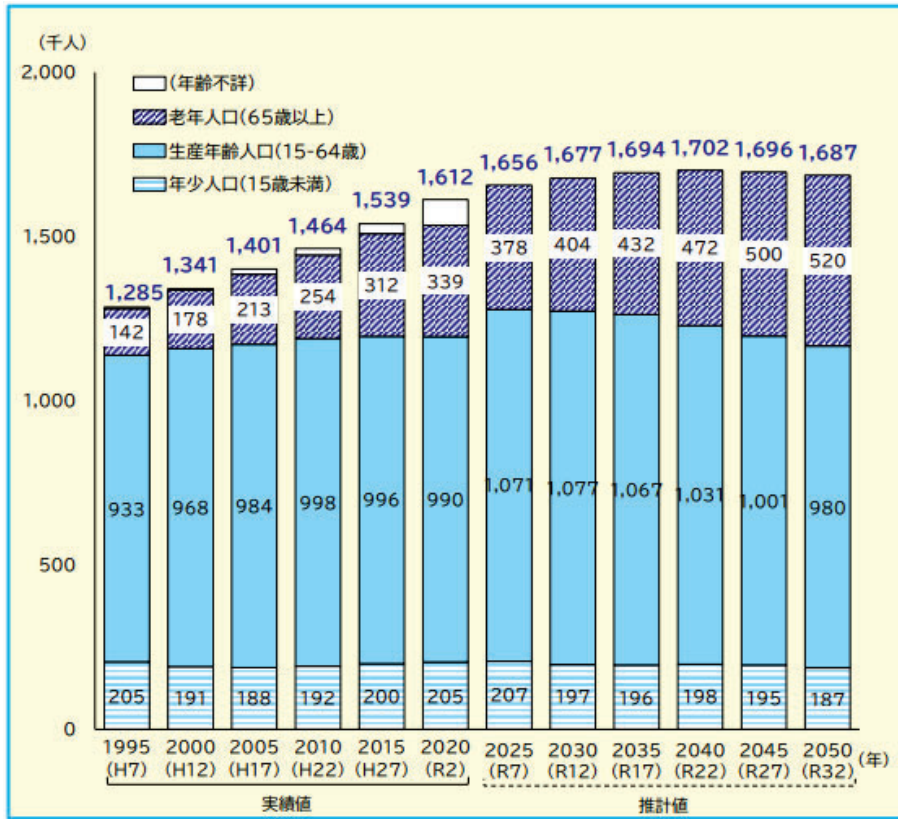
7. 事業の進行管理と評価

第2次ビジョンを着実に推進していくため、事業計画に基づき、年度ごとに図書館サービスや業務についての評価を行い、進行管理を行っていく。

そのため、年度ごとに図書館サービスや業務について、利用者アンケートを実施しながら、内部評価を行う。内部評価について意見を聴くため、「ビジョン推進に関する点検評価会議」の中で、市民や有識者の視点を取り入れた外部評価を行い、結果を公表していく。

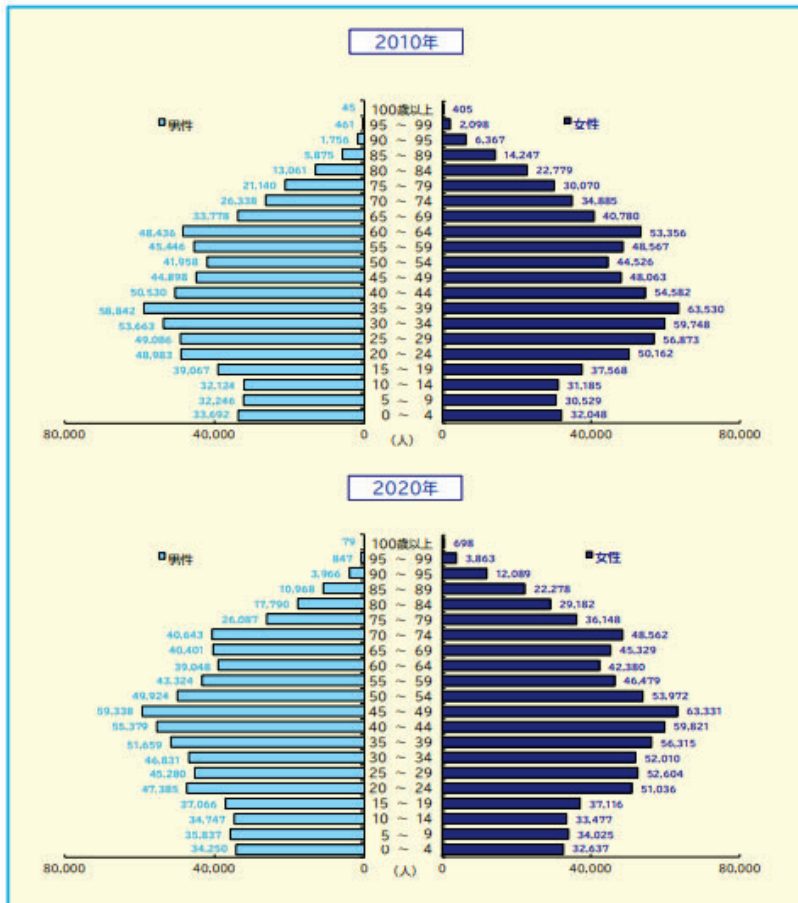
福岡市の人口構成について

(1) 人口



資料：国勢調査・福岡市の将来人口推計（2024年）
注：各年10月1日現在

(2) 人口ピラミッド



資料：国勢調査

令和6年度市政に関する意識調査（図書館）の調査結果 （総合図書館 暫定版）

「令和6年度市政に関する意識調査結果概要（ふくおかボイス）」において、主な設問の結果は公表されている。

次期総合図書館基本的運営方針策定の基礎資料とするため、以下のとおり、各設問において、性・年代別、利用頻度別などの集計を行った。

なお、調査結果報告書については、別途広聴課において作成される。

< 調査概要 >

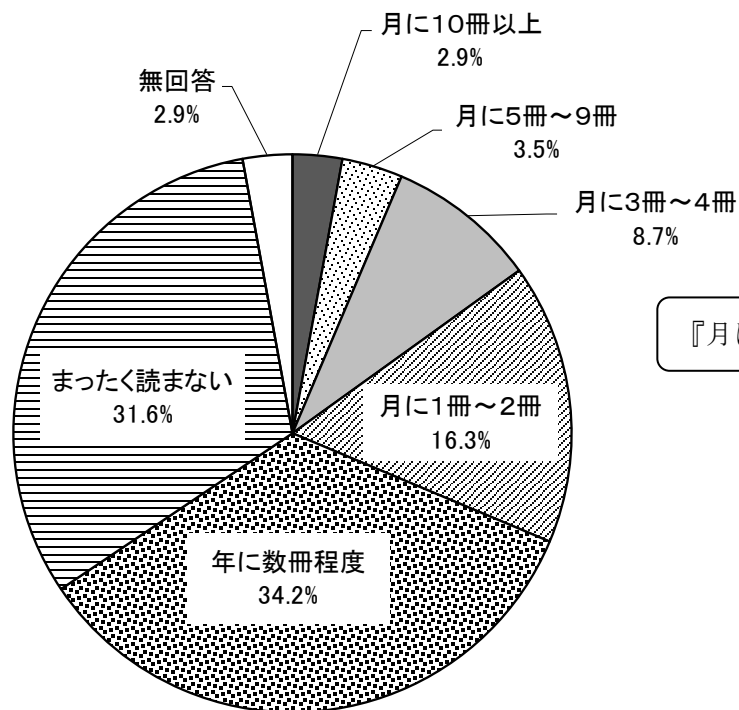
- ・ 調査項目 : 「福岡市の住みやすさ」「図書館」「福岡市の保健福祉」
- ・ 調査地域 : 福岡市全域
- ・ 調査対象者 : 福岡市内に居住する満18歳以上の市民
- ・ 標本数 : 4,500 サンプル
- ・ 抽出方法 : 住民基本台帳による無作為抽出法
- ・ 調査方法 : 郵送法（回答は郵送又はインターネット）
- ・ 調査期間 : 令和6年6月21日～7月12日
- ・ 回収数（率） : 2,300 サンプル（51.1%）
- ・ 調査主体 : 福岡市市長室広聴課

(1) 平均読書冊数

問6 あなたは、日頃、本（電子書籍は含む。漫画、雑誌は含まない。）を平均何冊ぐらい読みますか。あてはまるものを**1つだけ**選んでください。

- 『月に1冊以上』、「年に数冊程度」、「まったく読まない」がそれぞれ3割強。
- あわせて『年に数冊以上』は65.6%。

図表 平均読書冊数【全体】



『月に1冊以上』 31.4%

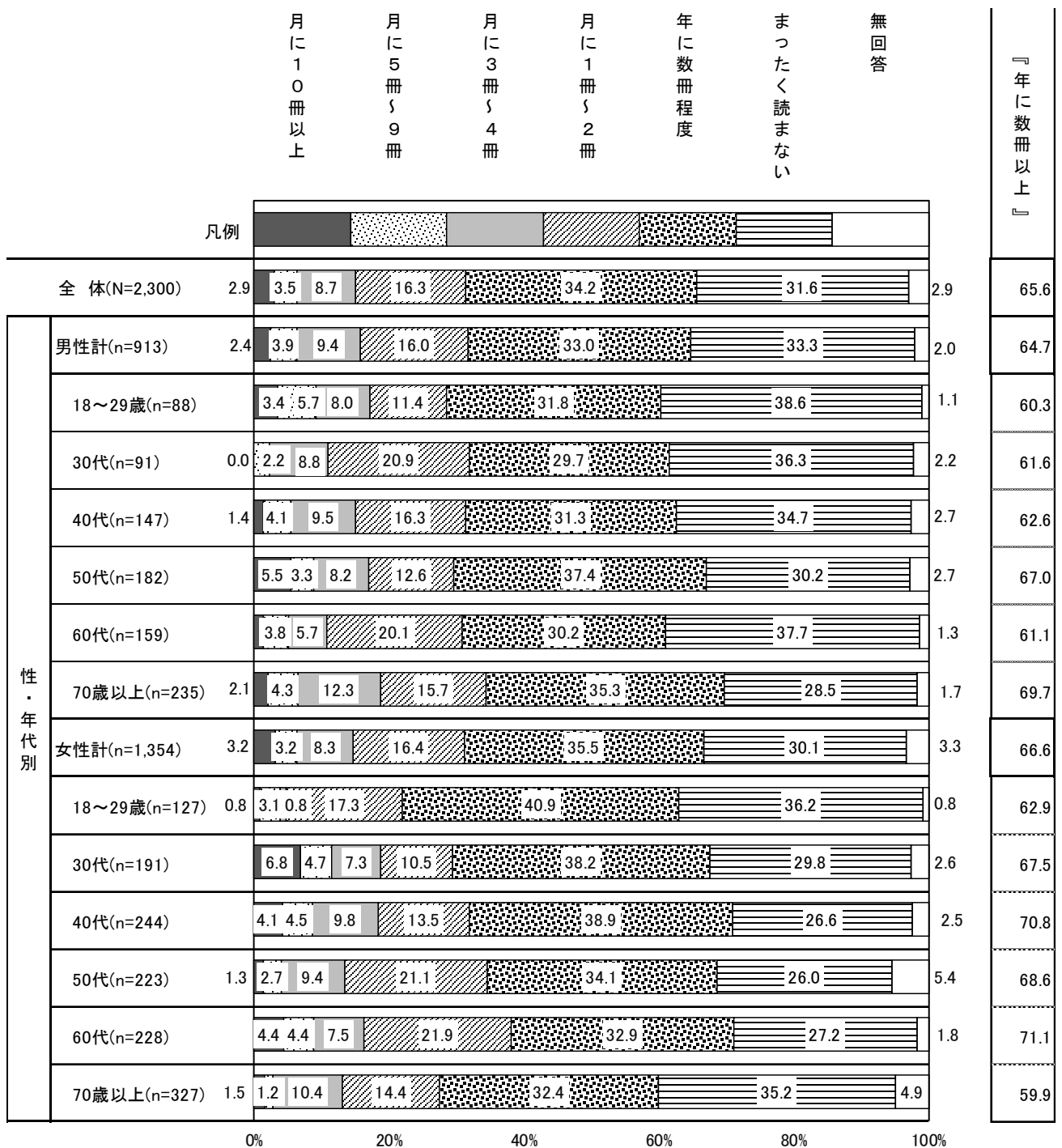
『年に数冊以上』 65.6%

全体(N=2,300)

○ 性別では、大きな違いはみられない。

○ 女性では、18～29歳、70歳以上が読書冊数が少ない傾向。

図表 平均読書冊数【性・年代別】



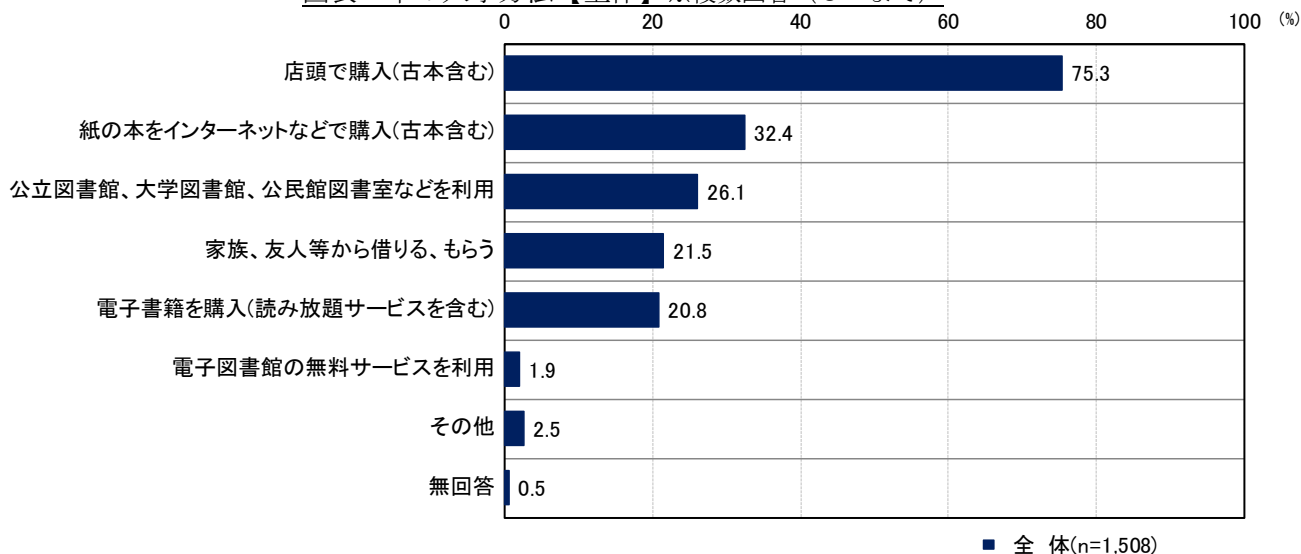
(2) 本の入手方法

問7 《 問6で「1」～「5」と回答した方におたずねします。 》

あなたは、日頃、本（電子書籍は含む。漫画、雑誌は含まない。）をどのような方法で入手しますか。特にあてはまるものを**3つまで**選んでください。

- 「店頭で購入(古本含む)」が全体の4分の3で最も多く、図書館の利用は4分の1。
- 「電子書籍を購入(読み放題サービスを含む)」は、50代以下では2割を超える。

図表 本の入手方法【全体】※複数回答（3つまで）



図表 本の入手方法【性・年代別】※複数回答（3つまで）

		単位: %								
調査数		店頭で購入(古本含む)	紙の本をインターネットなどで購入(古本含む)	公立図書館、大学図書館、公民館図書室などを利用	家族、友人等から借りる、もらう	電子書籍を購入(読み放題サービスを含む)	電子図書館の無料サービスを利用	その他	無回答	
全体	1,508	75.3	32.4	26.1	21.5	20.8	1.9	2.5	0.5	
性・年代別	男性計	591	74.5	31.3	22.8	16.4	21.2	2.0	2.7	0.5
	18～29歳	53	67.9	47.2	26.4	15.1	35.8	5.7	-	-
	30代	56	71.4	39.3	19.6	21.4	37.5	3.6	-	-
	40代	92	75.0	45.7	21.7	10.9	35.9	-	-	-
	50代	122	77.9	36.1	13.9	13.9	27.0	4.1	1.6	0.8
	60代	97	77.3	28.9	26.8	11.3	7.2	-	3.1	-
	70歳以上	164	74.4	14.0	28.7	23.2	5.5	1.2	6.7	0.6
	女性計	901	76.2	33.4	28.1	24.5	20.8	1.8	2.2	0.3
	18～29歳	80	83.8	41.3	20.0	20.0	31.3	1.3	-	-
	30代	129	65.9	43.4	28.7	21.7	43.4	3.9	0.8	-
	40代	173	72.3	49.1	24.9	17.3	31.2	1.7	0.6	-
	50代	153	74.5	42.5	27.5	20.9	21.6	1.3	0.7	0.7
	60代	162	83.3	27.2	30.2	25.3	9.9	0.6	3.1	-
70歳以上	196	79.6	7.1	32.7	37.8	1.0	2.0	6.1	0.5	

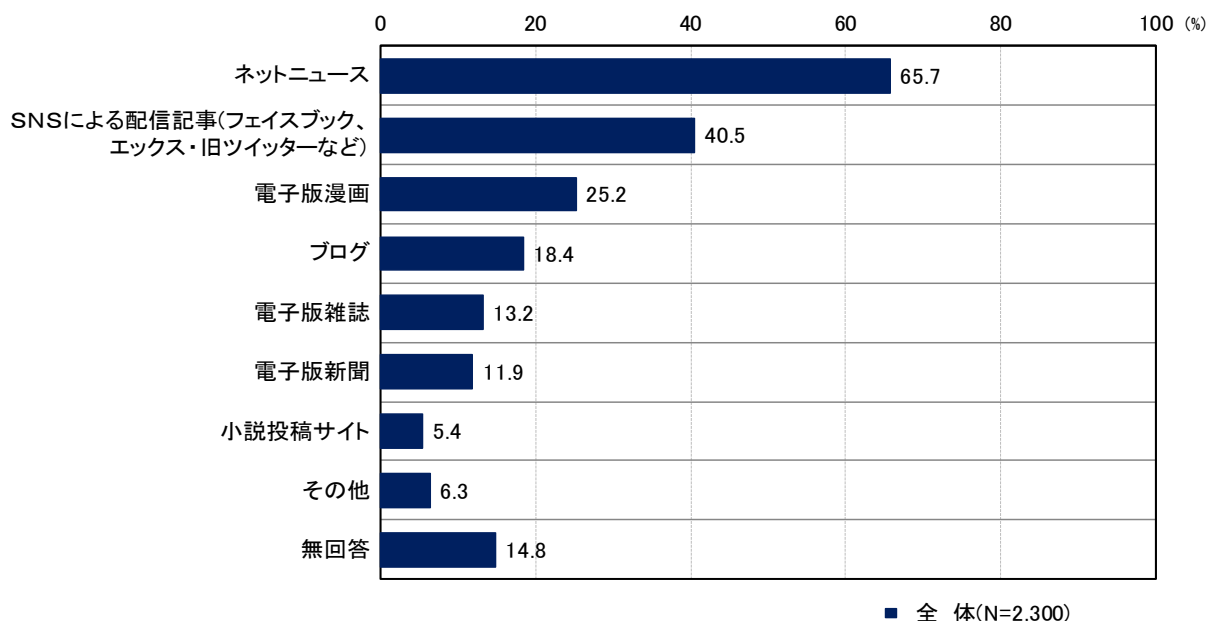
(3) インターネット上の読み物の利用状況

問8 《すべての方におたずねします。》

あなたは、インターネット上の読み物を利用しますか（問6で回答した本を除く）。あてはまるものをすべて選んでください。

○ 概ね年代が低いほど利用率が高い。

図表 インターネット上の読み物の利用状況【全体】※複数回答（すべて）



図表 インターネット上の読み物の利用状況【性・年代別】※複数回答（すべて）

単位: %

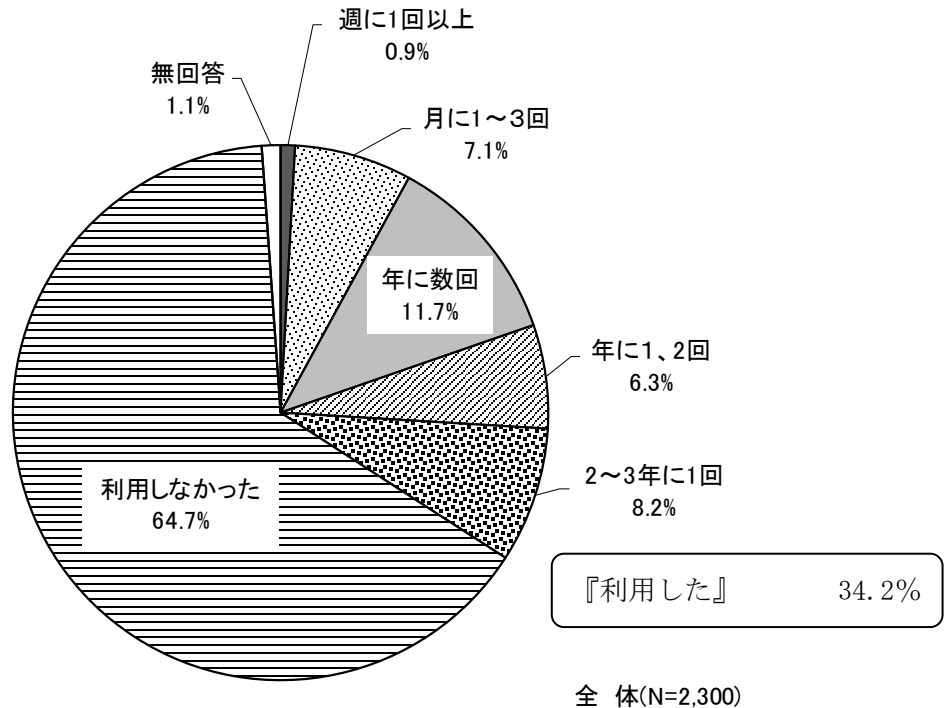
	調査数	ネットニュース	イSNS ツタ ブッ クに よる 配 信 記 事 (フ ェ イ ス ブ ッ ク ・ エ ッ ク ス ・ 旧 ツ イ ッ タ ー な ど)	電子 版 漫 画	ブ ロ グ	電 子 版 雑 誌	電 子 版 新 聞	小 説 投 稿 サ イ ト	そ の 他	無 回 答	
		全体	2,300	65.7	40.5	25.2	18.4	13.2	11.9	5.4	6.3
性・年代別	男性計	913	67.8	36.5	24.4	16.2	14.5	15.9	4.6	5.9	12.7
	18～29歳	88	50.0	55.7	58.0	22.7	11.4	8.0	10.2	-	5.7
	30代	91	80.2	50.5	44.0	18.7	20.9	11.0	9.9	-	5.5
	40代	147	81.6	47.6	40.1	24.5	22.4	20.4	4.8	2.0	4.1
	50代	182	82.4	50.5	29.1	24.2	21.4	22.5	2.7	2.2	2.7
	60代	159	75.5	27.7	8.2	11.9	11.9	19.5	3.1	6.9	10.1
	70歳以上	235	45.1	12.3	1.7	4.7	5.1	11.1	2.1	15.3	33.2
	女性計	1,354	64.8	43.8	26.2	20.3	12.6	9.4	6.1	6.2	15.7
	18～29歳	127	64.6	69.3	55.9	15.0	12.6	2.4	12.6	0.8	3.1
	30代	191	81.7	76.4	52.9	28.8	27.7	12.0	16.2	0.5	1.6
	40代	244	74.6	61.5	43.4	30.7	17.6	13.1	8.6	3.3	3.3
	50代	223	81.6	46.6	25.1	28.3	15.2	12.1	3.1	2.2	4.9
60代	228	76.3	31.6	8.3	17.1	8.3	11.8	1.8	5.3	9.6	
70歳以上	327	29.4	9.5	0.3	6.7	1.5	4.3	0.9	16.5	48.9	

(4) 過去3年間の、福岡市立図書館の利用状況

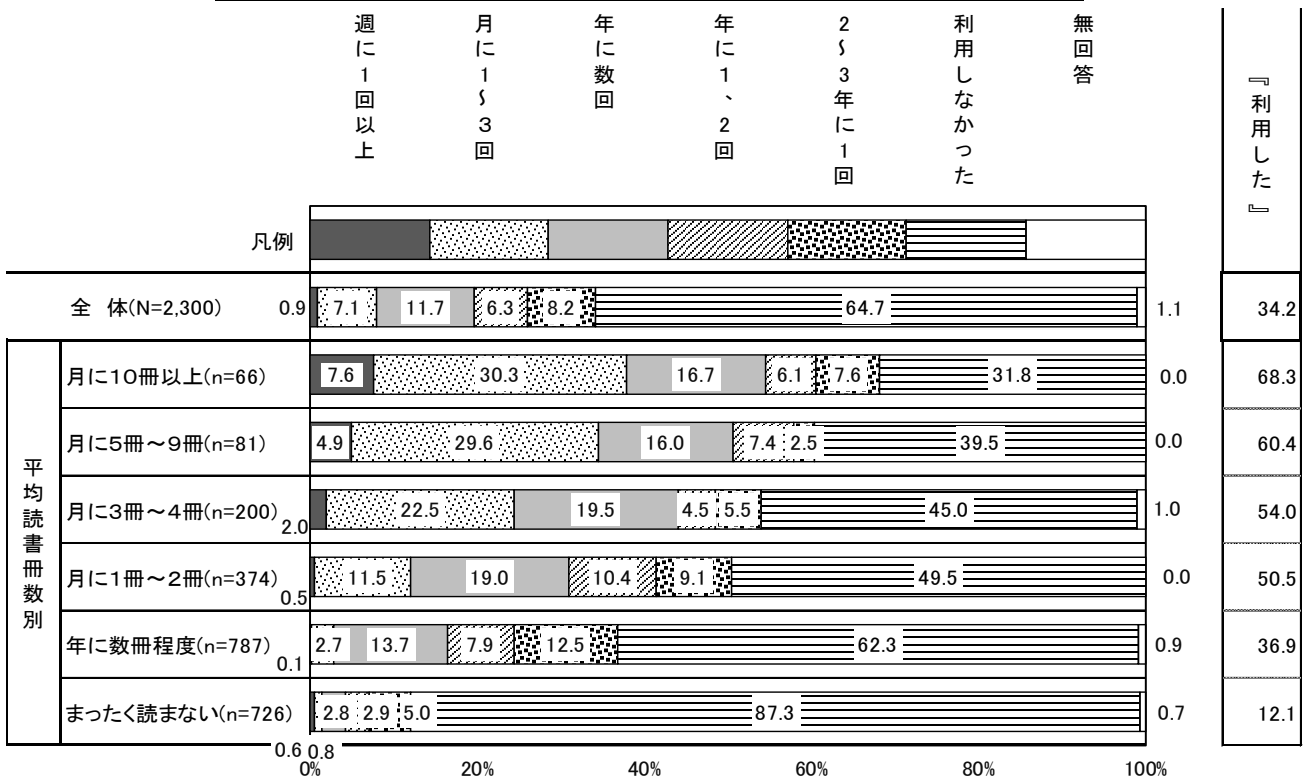
問9 あなたは、過去3年間に、福岡市立の図書館（総合図書館、各分館）をあわせてどの程度利用しましたか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

- 『利用した』は34.2%で、うち「年に数回」が11.7%で最も多い。
- 平均読書冊数が多いほど『利用した』の割合が高い。

図表 過去3年間の、福岡市立図書館の利用状況【全体】



図表 過去3年間の、福岡市立図書館の利用状況【平均読書冊数別】

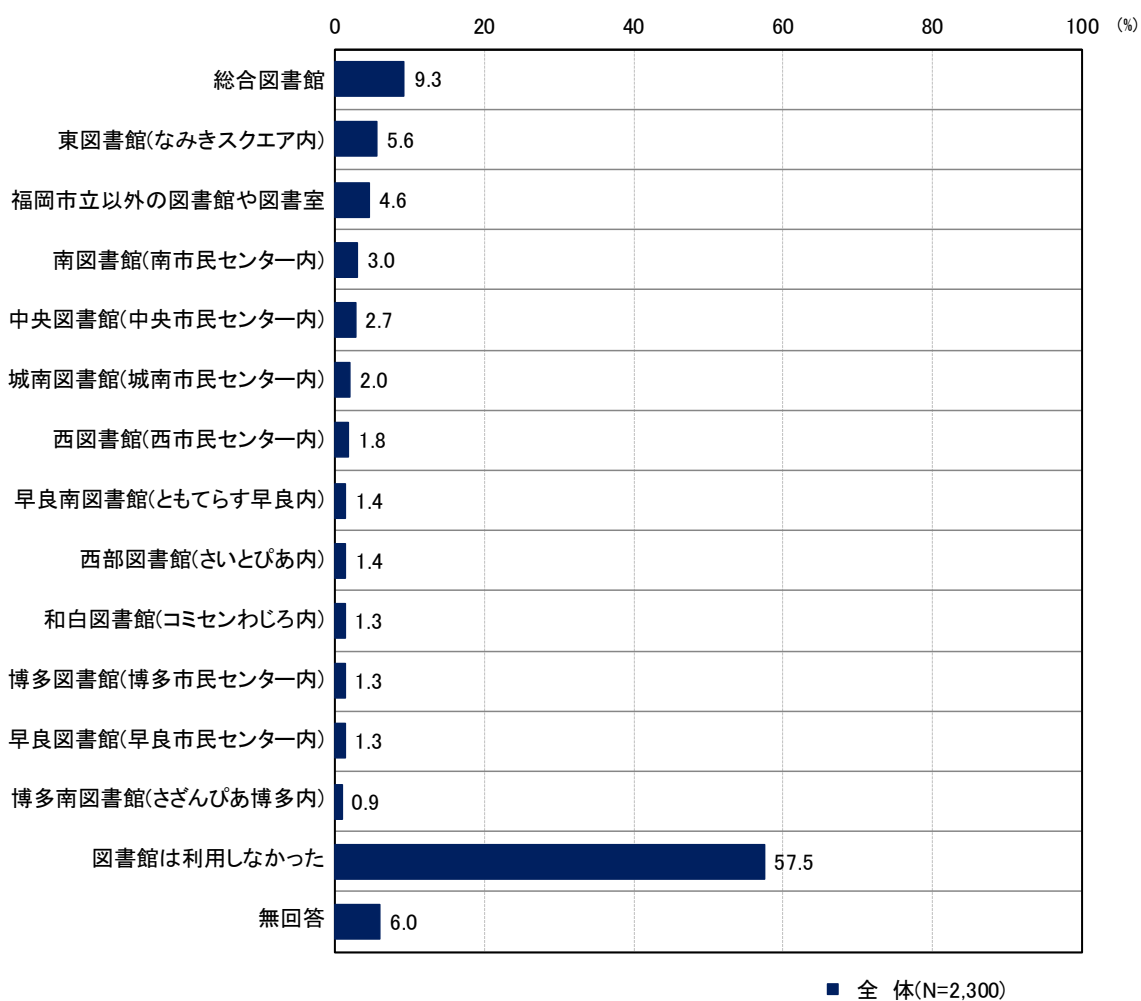


(5) 過去3年間の、最もよく利用した図書館

問 10 あなたが、過去3年間に、最もよく利用した図書館を1つだけ選んでください（福岡市立以外の図書館も含む）

- 「図書館は利用しなかった」が6割弱。
- 「総合図書館」(9.3%)の利用が最も多い。

図表 過去3年間の、最もよく利用した図書館【全体】



○ 行政区別では、居住区内の図書館の利用が高いが、「総合図書館」は、中央区、城南区、早良区、西区で10%を超えている。

図表 過去3年間の、最もよく利用した図書館【性・年代別・行政区別】

		単位：%															
調査数		総合図書館	東図書館 (なみきスクエア内)	福岡市立以外の図書館や図書室	南図書館 (南市民センター内)	中央図書館 (中央市民センター内)	城南図書館 (城南市民センター内)	西図書館 (西市民センター内)	早良南図書館 (ともてらす早良内)	西部図書館 (さいとびあ内)	和白図書館 (コミセンわじろ内)	博多図書館 (博多市民センター内)	早良図書館 (早良市民センター内)	博多南図書館 (さざんびあ博多内)	図書館は利用しなかった	無回答	
全体	2,300	9.3	5.6	4.6	3.0	2.7	2.0	1.8	1.4	1.4	1.3	1.3	1.3	0.9	57.5	6.0	
性・年代別	男性計	913	9.3	5.0	4.3	2.5	2.8	2.2	1.8	1.1	1.2	1.2	1.4	1.3	0.8	59.6	5.5
	18～29歳	88	12.5	5.7	9.1	1.1	2.3	2.3	1.1	1.1	1.1	3.4	2.3	2.3	53.4	1.1	
	30代	91	7.7	6.6	5.5	4.4	1.1	4.4	2.2	-	1.1	1.1	-	2.2	59.3	2.2	
	40代	147	15.6	3.4	4.1	1.4	0.7	2.7	2.0	2.7	0.7	1.4	2.0	1.4	-	57.8	4.1
	50代	182	5.5	6.6	3.3	2.7	2.7	0.5	1.1	-	1.1	1.1	2.7	0.5	0.5	64.8	6.6
	60代	159	11.3	3.1	4.4	1.9	2.5	1.9	1.3	1.3	1.3	0.6	-	1.9	-	59.1	9.4
	70歳以上	235	6.4	5.5	2.6	3.4	5.1	2.6	2.6	1.3	1.3	1.7	0.9	0.9	0.9	59.6	5.5
	女性計	1,354	9.4	6.0	4.9	3.3	2.7	1.8	1.9	1.6	1.6	1.3	1.2	1.3	1.0	56.3	5.7
	18～29歳	127	11.8	6.3	6.3	2.4	4.7	2.4	3.1	1.6	-	0.8	-	1.6	-	56.7	2.4
	30代	191	7.3	5.2	7.3	7.3	3.7	2.1	1.6	3.1	3.1	2.6	2.6	1.0	0.5	50.8	1.6
	40代	244	11.1	6.6	4.5	6.1	2.9	2.5	1.2	1.6	2.9	0.4	2.0	0.8	0.8	54.1	2.5
	50代	223	14.8	6.3	7.2	1.8	1.8	0.9	0.9	0.4	0.4	2.2	0.4	1.8	1.3	55.2	4.5
60代	228	7.5	7.9	4.8	0.9	1.8	0.9	3.1	1.8	2.2	0.4	0.9	1.8	2.2	57.9	6.1	
70歳以上	327	6.4	4.6	1.8	2.1	2.4	2.1	2.1	1.5	0.6	1.2	0.6	0.9	0.6	60.6	12.2	
行政区別	東区	467	2.1	25.9	7.5	-	0.2	-	-	-	6.0	0.4	-	0.2	52.7	4.9	
	博多区	315	3.8	1.6	7.3	1.3	1.6	0.6	-	-	-	7.3	-	5.1	66.7	4.8	
	中央区	307	14.3	0.3	4.2	0.3	14.0	1.0	-	0.3	-	0.3	0.3	0.3	60.3	4.2	
	南区	368	5.4	-	6.0	17.1	0.5	2.7	-	-	0.3	-	0.5	-	0.8	59.8	6.8
	城南区	189	13.8	-	1.6	-	3.7	14.8	-	0.5	-	-	0.5	-	-	61.9	3.2
	早良区	332	19.6	-	1.5	-	0.9	0.6	2.4	7.8	-	-	-	8.1	-	51.5	7.5
	西区	294	11.9	-	1.7	-	0.3	-	11.6	1.4	10.5	-	-	0.7	-	54.4	7.5

(注) 太字は、利用率が最も高い図書館

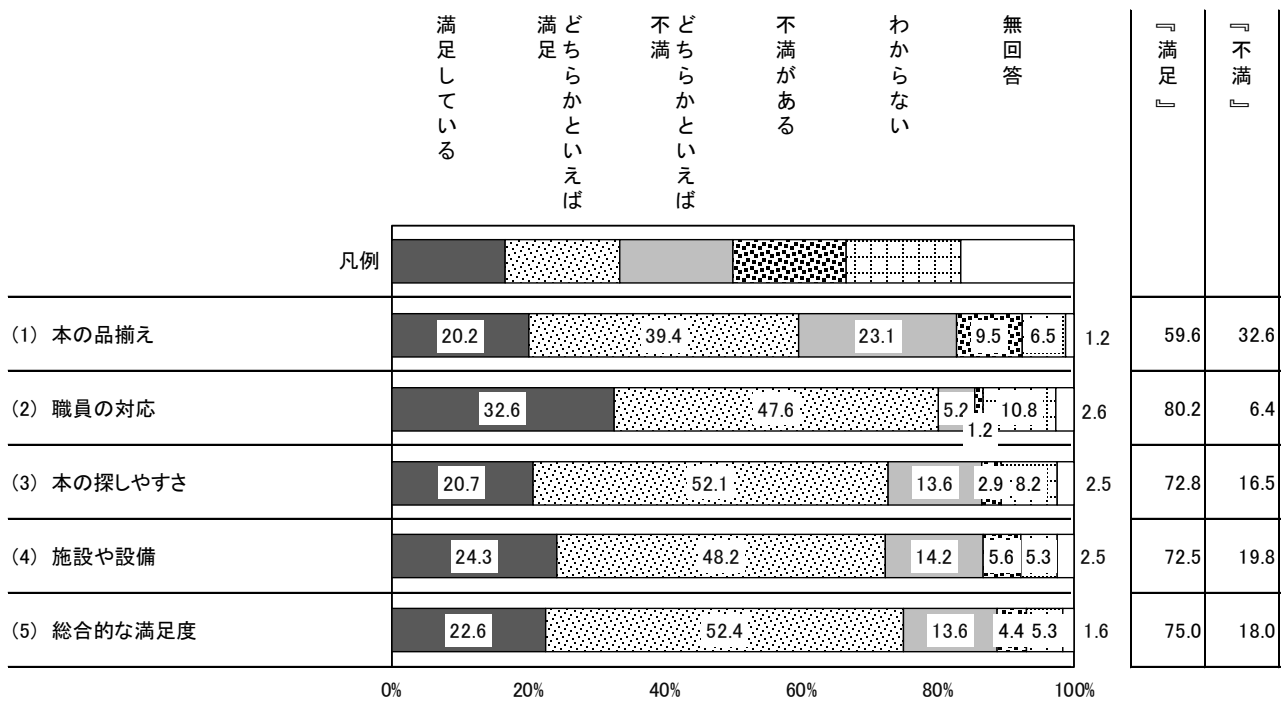
(6) 最も利用する図書館の満足度

問 11 <<問 10 で「1」～「12」と回答した方におたずねします。>>

問 10 で回答した最も利用する図書館について、どの程度満足していますか。もしくは不満がありますか。(1)～(5)のそれぞれについて、あてはまるものを**1つつ**選んでください。

- 「職員の対応」は『満足』が 8 割。
- 「本の品揃え」は『不満』が 3割で、特に分館では4割を超える。

図表 最も利用する図書館の満足度【全体】



全体(n=733)

図表 最も利用する図書館の満足度【図書館別】

項目	調査数	満足度						単位：%			
		満足している	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満がある	わからない	無回答	『満足』	『不満』		
(1) 本の品揃え	全体	733	20.2	39.4	23.1	9.5	6.5	1.2	59.6	32.6	
	館別	総合図書館	214	37.4	43.9	7.0	3.7	7.0	0.9	81.3	10.7
	分館	519	13.1	37.6	29.7	11.9	6.4	1.3	50.7	41.6	
(2) 職員の対応	全体	733	32.6	47.6	5.2	1.2	10.8	2.6	80.2	6.4	
	館別	総合図書館	214	33.2	49.1	3.7	0.9	11.7	1.4	82.3	4.6
	分館	519	32.4	47.0	5.8	1.3	10.4	3.1	79.4	7.1	
(3) 本の探しやすさ	全体	733	20.7	52.1	13.6	2.9	8.2	2.5	72.8	16.5	
	館別	総合図書館	214	25.7	51.4	8.4	2.8	9.8	1.9	77.1	11.2
	分館	519	18.7	52.4	15.8	2.9	7.5	2.7	71.1	18.7	
(4) 施設や設備	全体	733	24.3	48.2	14.2	5.6	5.3	2.5	72.5	19.8	
	館別	総合図書館	214	34.1	50.0	7.0	3.3	4.2	1.4	84.1	10.3
	分館	519	20.2	47.4	17.1	6.6	5.8	2.9	67.6	23.7	
(5) 総合的な満足度	全体	733	22.6	52.4	13.6	4.4	5.3	1.6	75.0	18.0	
	館別	総合図書館	214	33.6	54.2	5.1	2.3	3.7	0.9	87.8	7.4
	分館	519	18.1	51.6	17.1	5.2	6.0	1.9	69.7	22.3	

(7) 現在の頻度以上に利用しない理由、利用自体がない理由

問 12 《すべての方におたずねします。》

図書館の利用について、現在の頻度以上に利用しない理由、利用自体がない理由は何ですか（福岡市立以外の図書館も含む）。特にあてはまるものを**3つまで**選んでください。

- 月に1回以上の利用がある人では、「最大限利用している(これ以上必要ない)」(29.5%)が最も多く、次いで「読みたい本がすぐに借りられない」(22.4%)、「仕事、勉強が忙しい」(20.2%)。
- 2～3年に1回以上利用している人では、「借りに行ったり、返しに行くのが面倒」(34.4%)が最も多く、次いで「仕事、勉強が忙しい」(29.4%)、「本を購入している」(22.3%)。
- 利用しなかった人では、「借りに行ったり、返しに行くのが面倒」(30.7%)が最も多く、次いで「本を読まない」(23.0%)、「仕事、勉強が忙しい」(20.1%)。

図表 現在の頻度以上に利用しない理由、利用自体がない理由【利用頻度別、性・年代別】

※複数回答（3つまで）

単位：%

	調査数	（最大限利用している）	仕事、勉強が忙しい	家事、育児、介護が忙しい	趣味、遊びが忙しい	健康上の問題	家でゆっくりしたい	読みたい本がない	本を購入している	電子書籍を利用している	読みたい本がすぐに借りられない	場所を知らない	借りに行ったり、返しに行くのが面倒	
全体	2300	3.7	22.4	12.0	7.6	7.3	17.4	9.8	18.6	6.0	7.5	4.7	30.4	
利用頻度別	月1回以上 計	183	29.5	20.2	15.8	4.9	5.5	8.7	19.7	6.0	3.3	22.4	0.5	18.0
	男性 計	64	34.4	17.2	6.3	4.7	4.7	10.9	29.7	4.7	6.3	14.1	0.0	14.1
	18～29歳	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0
	30～59歳	27	37.0	25.9	14.8	3.7	0.0	0.0	25.9	3.7	0.0	18.5	0.0	22.2
	60歳～	34	35.3	8.8	0.0	5.9	8.8	14.7	32.4	5.9	5.9	11.8	0.0	8.8
	女性 計	117	27.4	22.2	21.4	4.3	6.0	7.7	13.7	6.8	1.7	26.5	0.0	20.5
	18～29歳	5	0.0	60.0	20.0	20.0	0.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	60.0
	30～59歳	57	19.3	35.1	33.3	3.5	0.0	7.0	12.3	3.5	3.5	22.8	0.0	17.5
	60歳～	53	37.7	5.7	9.4	3.8	13.2	7.5	13.2	9.4	0.0	34.0	0.0	18.9
	2～3年に1回以上 計	602	4.5	29.4	16.6	10.0	5.5	15.6	15.3	22.3	7.8	13.3	0.3	34.4
	男性 計	230	4.3	30.0	11.3	9.6	6.5	19.6	17.4	21.3	8.7	10.0	0.0	30.0
	18～29歳	32	9.4	43.8	6.3	9.4	0.0	31.3	18.8	3.1	12.5	0.0	0.0	21.9
	30～59歳	105	1.9	36.2	19.0	6.7	1.9	15.2	17.1	20.0	12.4	10.5	0.0	30.5
	60歳～	90	5.6	17.8	4.4	12.2	13.3	21.1	17.8	28.9	3.3	13.3	0.0	32.2
	女性 計	367	4.6	29.4	20.2	10.1	4.6	13.1	13.9	22.9	7.4	15.5	0.5	37.1
	18～29歳	39	5.1	43.6	0.0	20.5	0.0	12.8	17.9	15.4	0.0	12.8	2.6	33.3
	30～59歳	209	3.8	36.8	28.2	5.3	1.9	13.9	14.8	22.5	10.5	16.3	0.0	36.8
60歳～	116	6.0	12.1	12.9	14.7	10.3	11.2	11.2	26.7	4.3	15.5	0.9	39.7	
利用しなかった	1489	0.3	20.1	9.9	7.1	8.3	19.3	6.5	18.9	5.6	3.4	7.1	30.7	
男性 計	611	0.3	20.1	4.3	9.7	5.9	20.3	7.9	18.8	5.4	3.6	7.4	24.1	
18～29歳	51	2.0	21.6	5.9	13.7	2.0	31.4	9.8	11.8	7.8	2.0	11.8	25.5	
30～59歳	287	0.3	28.6	6.3	9.8	1.4	16.0	5.9	18.5	6.6	3.8	7.0	22.6	
60歳～	265	0.0	10.6	1.9	8.7	11.7	22.6	9.8	21.1	3.4	3.8	7.2	25.3	
女性 計	855	0.4	20.2	14.0	5.1	9.7	18.7	5.6	19.3	6.0	3.3	6.7	35.9	
18～29歳	83	1.2	37.3	10.8	9.6	1.2	24.1	7.2	14.5	10.8	1.2	12.0	31.3	
30～59歳	388	0.5	25.0	18.8	4.1	3.1	16.5	7.2	16.8	9.0	3.9	7.5	37.6	
60歳～	375	0.0	11.5	9.6	5.3	18.7	19.7	3.7	22.7	1.6	3.2	4.5	35.5	

	調査数	子どもと一緒に 行きづら	悪い図書館までの アクセスが	駐車スペースが 少ない	利用したい時に 開いてい	衛生管理がな されている か不安	本を読まない	その他	特に理由はない	無回答	
全体	2300	1.4	12.4	4.4	3.0	3.5	16.6	4.9	6.3	4.5	
月1回以上 計	183	1.6	8.7	4.4	7.7	3.8	1.6	2.7	1.1	2.7	
性・年代別	男性 計	64	0.0	7.8	6.3	4.7	1.6	3.1	3.1	4.7	
	18~29歳	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	30~59歳	27	0.0	11.1	11.1	3.7	0.0	0.0	7.4	3.7	
	60歳~	34	0.0	5.9	2.9	5.9	2.9	2.9	0.0	2.9	
	女性 計	117	2.6	9.4	3.4	9.4	5.1	1.7	2.6	0.0	1.7
	18~29歳	5	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	30~59歳	57	3.5	8.8	5.3	12.3	5.3	1.8	1.8	0.0	3.5
60歳~	53	0.0	11.3	1.9	7.5	5.7	1.9	3.8	0.0	0.0	
2~3年に1回以上 計	602	1.3	13.3	7.5	3.5	3.5	5.5	5.5	2.0	4.8	
性・年代別	男性 計	230	0.4	10.9	8.7	3.0	4.3	7.0	5.7	2.2	3.9
	18~29歳	32	0.0	18.8	0.0	3.1	3.1	15.6	0.0	0.0	6.3
	30~59歳	105	0.0	7.6	9.5	1.9	2.9	8.6	4.8	1.9	4.8
	60歳~	90	1.1	11.1	11.1	4.4	5.6	2.2	8.9	3.3	2.2
	女性 計	367	1.9	14.7	6.5	3.8	3.0	4.6	5.4	1.9	5.2
	18~29歳	39	0.0	23.1	0.0	5.1	0.0	10.3	5.1	0.0	5.1
	30~59歳	209	2.4	11.5	7.7	4.8	1.9	3.8	4.8	1.0	4.3
60歳~	116	1.7	18.1	6.9	1.7	6.0	4.3	6.9	4.3	6.0	
利用しなかった	1489	1.4	12.7	3.3	2.1	3.5	23.0	5.0	8.6	3.7	
性・年代別	男性 計	611	0.5	9.0	4.3	2.1	2.0	24.9	5.9	13.1	3.1
	18~29歳	51	0.0	13.7	3.9	3.9	2.0	31.4	7.8	3.9	2.0
	30~59歳	287	1.0	6.6	4.5	3.8	2.1	22.0	6.6	14.3	3.5
	60歳~	265	0.0	10.9	4.2	0.0	1.9	26.8	4.5	13.2	3.0
	女性 計	855	2.1	15.3	2.6	2.2	4.7	21.4	4.4	5.3	4.1
	18~29歳	83	2.4	7.2	0.0	0.0	4.8	27.7	3.6	4.8	1.2
	30~59歳	388	4.1	16.8	3.1	3.9	4.6	17.3	4.6	4.4	4.9
60歳~	375	0.0	15.7	2.7	1.1	4.3	24.0	4.5	6.4	4.0	

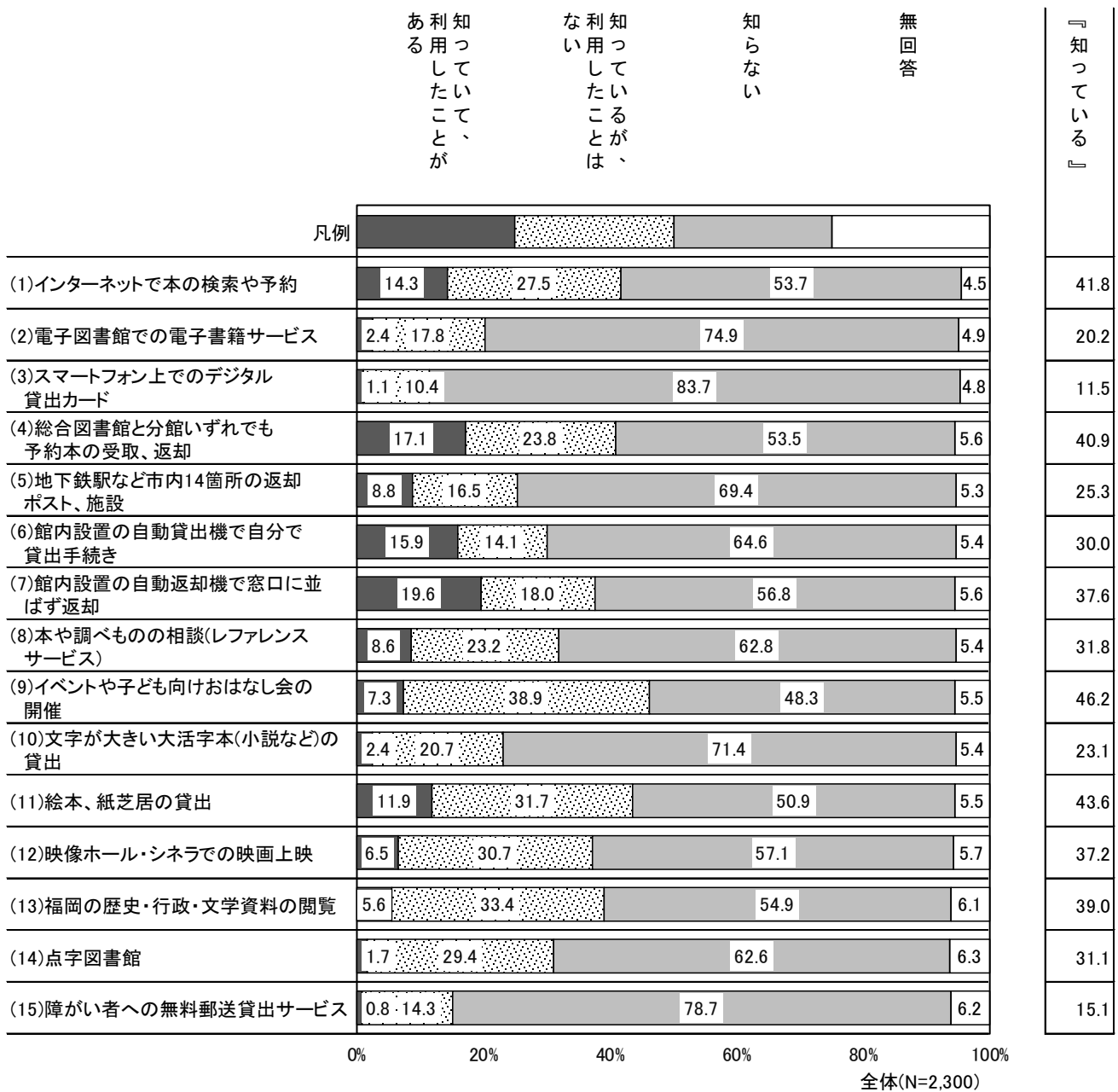
(注) 太字は30%以上、網掛けは10%以上

(8) 図書館で行っているサービスの認知・利用状況

問 13 あなたは、次のような福岡市の図書館で行っているサービスを知っていますか。(1)～(15)のそれぞれについて、あてはまるものを1つずつ選んでください。

- 認知度が高いのは、「イベントや子ども向けおはなし会の開催」(46.2%)、「絵本、紙芝居の貸出」(43.6%)、「インターネットで本の検索や予約」(41.8%)。
- 「スマートフォン上でのデジタル貸出カード」は、「知らない」が8割を超える。

図表 福岡市の図書館で行っているサービスの認知・利用状況【全体】



- 月に1回以上の利用がある人では、館内設置の機器や予約サービスなどは利用率が高い。しかしながら、認知度が低いサービスもあり、「電子図書館での電子書籍サービス」(47.5%)、「スマートフォン上でのデジタル貸出カード」(71.0%)のデジタル関連サービスや、「地下鉄駅など市内14箇所の返却ポスト、施設」(35.5%)、「本や調べものの相談(レファレンスサービス)」(33.3%)など図書館利用に直結するサービスであっても知られていない。
- 2～3年に1回以上利用している人では、「知っているが、利用したことはない」で、「インターネットで本の検索や予約」(39.0%)、「総合図書館と分館いずれでも予約本の受取、返却」(35.0%)が比較的割合が高く、便利なサービスが利用に繋がっていない面が見受けられる。
- 利用しなかった人では、すべての項目で「知らない」が最も高い。

図表 福岡市の図書館で行っているサービスの認知・利用状況【利用頻度別】

単位：%

		調査数	知っているが、利用したことがない	知っているが、利用していない	知らない	無回答	『知っている』	
(1)インターネットで本の検索や予約	全体	2,300	14.3	27.5	53.7	4.5	41.8	
	頻度利用	月に1回以上	183	51.4	26.2	17.5	4.9	77.6
		2～3年に1回以上	602	25.2	39.0	34.1	1.7	64.2
		利用しなかった	1,489	5.4	23.2	66.8	4.5	28.6
(2)電子図書館での電子書籍サービス	全体	2,300	2.4	17.8	74.9	4.9	20.2	
	頻度利用	月に1回以上	183	10.9	37.2	47.5	4.4	48.1
		2～3年に1回以上	602	3.7	29.1	65.1	2.2	32.8
		利用しなかった	1,489	0.9	10.9	83.1	5.0	11.8
(3)スマートフォン上でのデジタル貸出カード	全体	2,300	1.1	10.4	83.7	4.8	11.5	
	頻度利用	月に1回以上	183	3.8	21.9	71.0	3.3	25.7
		2～3年に1回以上	602	1.8	15.3	80.7	2.2	17.1
		利用しなかった	1,489	0.5	7.1	87.4	5.0	7.6
(4)総合図書館と分館いずれでも予約本の受取、返却	全体	2,300	17.1	23.8	53.5	5.6	40.9	
	頻度利用	月に1回以上	183	62.8	24.0	9.3	3.8	86.8
		2～3年に1回以上	602	31.1	35.0	30.2	3.7	66.1
		利用しなかった	1,489	6.0	19.5	69.0	5.4	25.5
(5)地下鉄駅など市内14箇所の返却ポスト、施設	全体	2,300	8.8	16.5	69.4	5.3	25.3	
	頻度利用	月に1回以上	183	33.3	27.3	35.5	3.8	60.6
		2～3年に1回以上	602	17.3	26.4	53.3	3.0	43.7
		利用しなかった	1,489	2.5	11.3	81.0	5.2	13.8

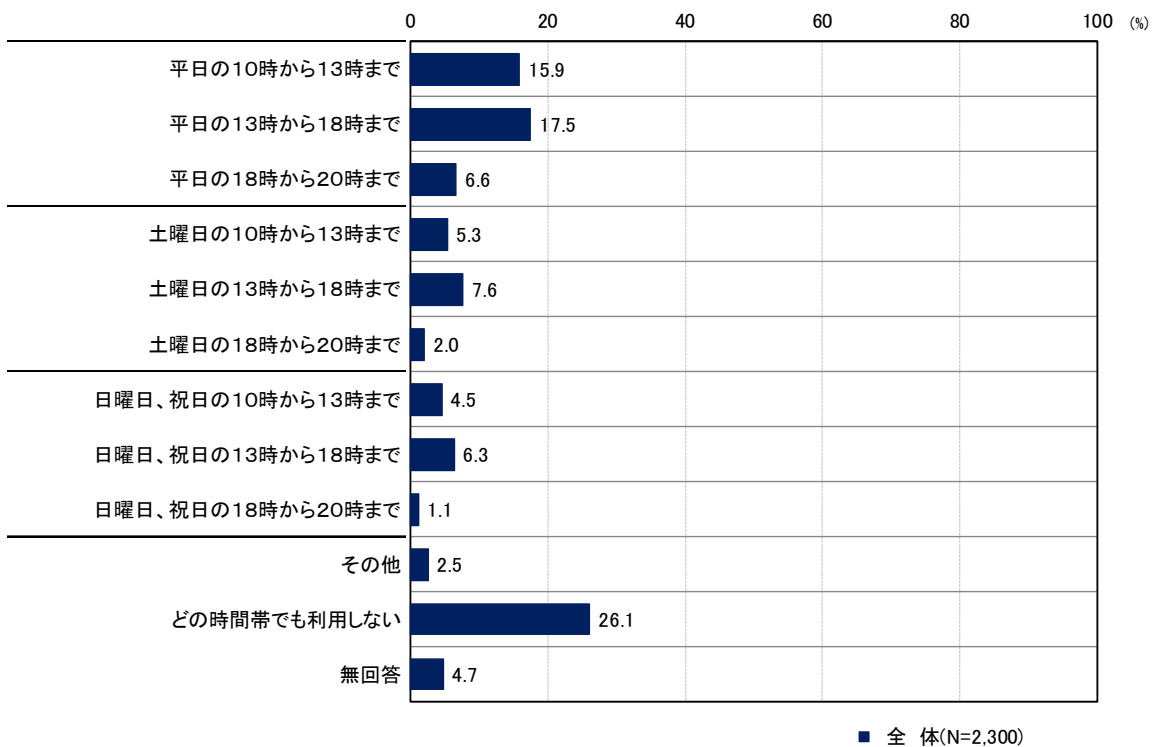
		調査数	利用していることが	利用しているが、ない	知らない	無回答	『知っている』	
(6)館内設置の自動貸出機で自分で貸出手続き	全 体	2,300	15.9	14.1	64.6	5.4	30.0	
	頻 利 度 用	月に1回以上	183	62.3	14.2	18.6	4.9	76.5
		2～3年に1回以上	602	31.2	24.1	41.7	3.0	55.3
		利用しなかった	1,489	4.2	10.3	80.2	5.4	14.5
(7)館内設置の自動返却機で窓口に並ばず返却	全 体	2,300	19.6	18.0	56.8	5.6	37.6	
	頻 利 度 用	月に1回以上	183	72.7	12.6	10.4	4.4	85.3
		2～3年に1回以上	602	38.0	28.9	30.1	3.0	66.9
		利用しなかった	1,489	5.7	14.4	74.1	5.8	20.1
(8)本や調べものの相談(レファレンスサービス)	全 体	2,300	8.6	23.2	62.8	5.4	31.8	
	頻 利 度 用	月に1回以上	183	24.6	37.2	33.3	4.9	61.8
		2～3年に1回以上	602	18.4	35.9	42.4	3.3	54.3
		利用しなかった	1,489	2.8	16.6	75.5	5.2	19.4
(9)イベントや子ども向けおはなし会の開催	全 体	2,300	7.3	38.9	48.3	5.5	46.2	
	頻 利 度 用	月に1回以上	183	18.0	62.3	14.2	5.5	80.3
		2～3年に1回以上	602	14.1	52.2	30.7	3.0	66.3
		利用しなかった	1,489	3.4	31.0	60.2	5.4	34.4
(10)文字が大きい大活字本(小説など)の貸出	全 体	2,300	2.4	20.7	71.4	5.4	23.1	
	頻 利 度 用	月に1回以上	183	9.8	48.6	36.6	4.9	58.4
		2～3年に1回以上	602	3.7	35.0	58.0	3.3	38.7
		利用しなかった	1,489	1.1	11.7	82.0	5.2	12.8
(11)絵本、紙芝居の貸出	全 体	2,300	11.9	31.7	50.9	5.5	43.6	
	頻 利 度 用	月に1回以上	183	35.5	39.3	20.2	4.9	74.8
		2～3年に1回以上	602	20.9	45.8	29.9	3.3	66.7
		利用しなかった	1,489	5.5	25.2	63.9	5.4	30.7
(12)映像ホール・シネラでの映画上映	全 体	2,300	6.5	30.7	57.1	5.7	37.2	
	頻 利 度 用	月に1回以上	183	18.0	50.3	24.6	7.1	68.3
		2～3年に1回以上	602	10.6	46.3	39.4	3.7	56.9
		利用しなかった	1,489	3.4	22.4	69.0	5.3	25.8
(13)福岡の歴史・行政・文学資料の閲覧	全 体	2,300	5.6	33.4	54.9	6.1	39.0	
	頻 利 度 用	月に1回以上	183	15.8	43.2	33.3	7.7	59.0
		2～3年に1回以上	602	10.5	47.7	37.5	4.3	58.2
		利用しなかった	1,489	2.4	26.9	65.3	5.5	29.3
(14)点字図書館	全 体	2,300	1.7	29.4	62.6	6.3	31.1	
	頻 利 度 用	月に1回以上	183	2.7	47.0	42.1	8.2	49.7
		2～3年に1回以上	602	2.8	42.7	50.2	4.3	45.5
		利用しなかった	1,489	1.0	22.3	71.0	5.7	23.3
(15)障がい者への無料郵送貸出サービス	全 体	2,300	0.8	14.3	78.7	6.2	15.1	
	頻 利 度 用	月に1回以上	183	3.3	25.1	63.4	8.2	28.4
		2～3年に1回以上	602	1.2	23.1	71.6	4.2	24.3
		利用しなかった	1,489	0.4	9.7	84.4	5.5	10.1

(9) 図書館を利用したい時間帯

問 14 あなたは、図書館を利用する場合、どの時間帯に最も利用したいですか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(現在の開館時間に関わらずご回答ください)

- 月に1回以上、及び2～3年に1回以上利用している人では、「平日の13時から18時まで」、「平日の10時から13時まで」の順で希望が多い。
- 利用しなかった人では、「どの時間帯でも利用しない」が4割近くにのぼり、おおむね平日午後、午前の希望が多く、夜間の希望は少ない。

図表 図書館を利用したい時間帯【全体】



図表 図書館を利用したい時間帯【利用頻度別、図書館別】

		調査数	3時までの10時から1	8時までの13時から1	0時までの18時から2	1土曜日の10時から	1土曜日の13時から	2土曜日の18時から	時日曜日の13時から10	時日曜日の18時から13	時日曜日の20時から18	その他	しない時間帯でも利用	無回答
全体		2,300	15.9	17.5	6.6	5.3	7.6	2.0	4.5	6.3	1.1	2.5	26.1	4.7
頻度別	月に1回以上	183	24.6	31.1	9.3	5.5	9.3	1.6	6.0	7.1	0.5	2.2	0.0	2.7
	2～3年に1回以上	602	20.6	23.1	8.6	8.0	10.3	2.5	6.8	8.0	0.8	2.8	4.5	4.0
	利用しなかった	1,489	12.8	13.6	5.5	4.2	6.4	1.9	3.5	5.6	1.3	2.5	38.3	4.3
館別	総合図書館	214	21.5	27.1	6.5	9.3	10.3	1.4	5.6	7.5	1.9	1.9	1.9	5.1
	分館	519	22.0	24.5	10.0	5.2	10.0	2.5	6.6	8.1	0.4	3.1	5.2	2.5

単位：%

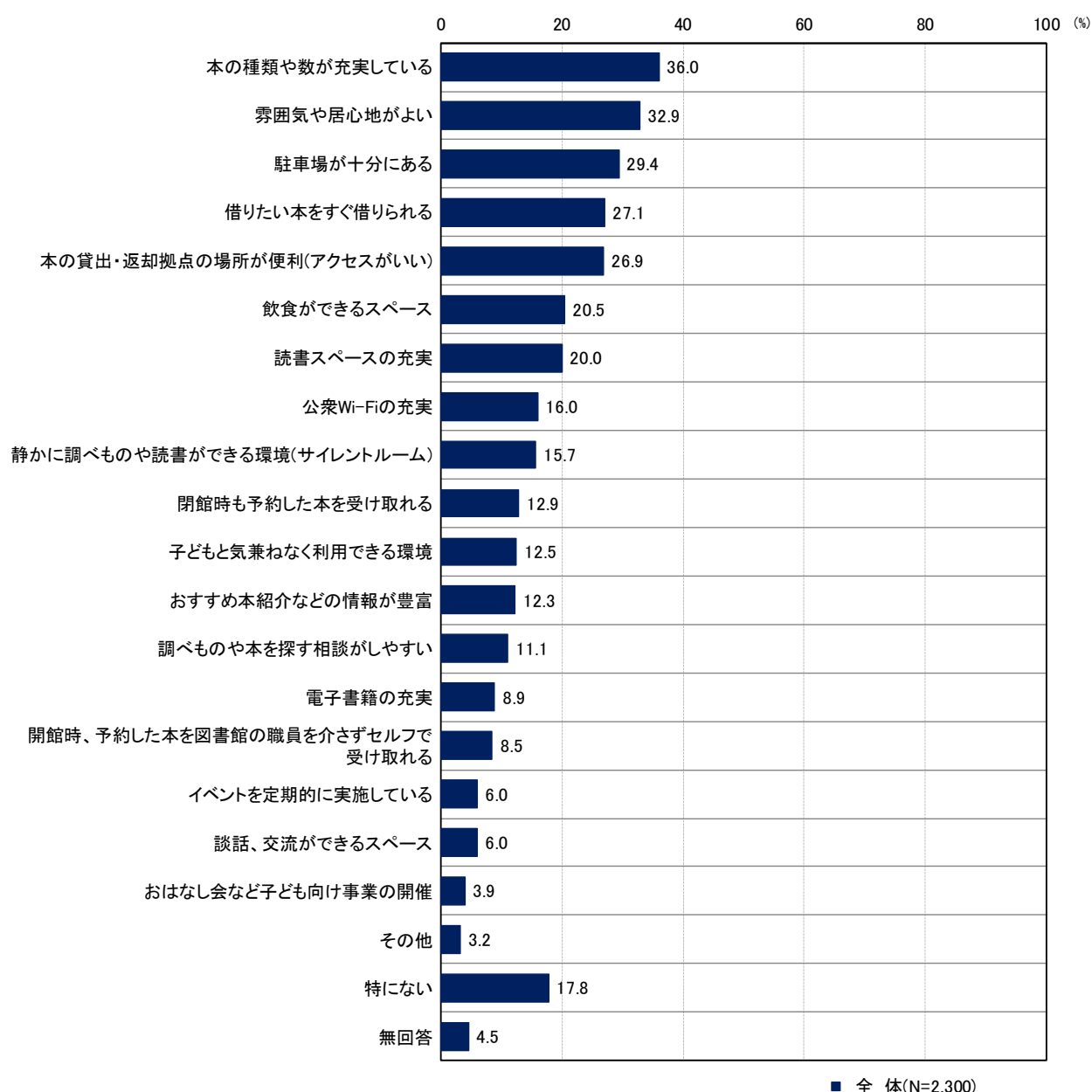
(10) 図書館をより魅力的にするための充実が必要なサービスや設備

問 15 総合図書館は映像ホール・シネラを併設した単独の施設であり、また、市内11の分館は市民センターや地域交流センター内に設置されています。
あなたは、これらの図書館をより魅力的にするためには、どのようなサービスや設備の充実が必要だと思いますか。特にあてはまるものを**5つまで**選んでください。

- 「本の種類や数が充実している」(36.0%)が最も多く、次に「雰囲気や居心地がよい」(32.9%)、「駐車場が十分にある」(29.4%)。

図表 図書館をより魅力的にするための充実が必要なサービスや設備

【全体】※複数回答(5つまで)



図表 図書館をより魅力的にするための充実が必要なサービスや設備

【性・年代別】※複数回答（5つまで）

単位：％

		調査数	本の種類や数が充実している	雰囲気や居心地がよい	駐車場が十分にある	借りたい本をすぐ借りられる	本の貸出・返却拠点の場所が便利（アクセスのいい）	飲食ができるスペース	読書スペースの充実	公衆Wi-Fiの充実	静かに調べものや読書ができる環境（サイレントルーム）	閉館時も予約した本を受け取れる	子どもと気兼ねなく利用できる環境	おすすめ本紹介などの情報が豊富
全体		2,300	36.0	32.9	29.4	27.1	26.9	20.5	20.0	16.0	15.7	12.9	12.5	12.3
性・年代別	男性計	913	33.8	30.9	31.3	24.8	21.6	18.2	18.5	16.9	15.0	12.4	10.1	10.0
	18～29歳	88	39.8	26.1	17.0	22.7	21.6	20.5	14.8	26.1	11.4	15.9	8.0	11.4
	30代	91	33.0	33.0	29.7	29.7	22.0	19.8	15.4	12.1	12.1	17.6	23.1	5.5
	40代	147	38.1	30.6	38.1	32.0	21.8	19.7	17.0	21.8	12.9	15.0	19.0	9.5
	50代	182	40.7	37.4	36.8	24.7	26.9	14.3	22.0	23.1	14.8	14.3	8.8	11.5
	60代	159	32.1	30.8	30.2	25.8	23.3	18.9	22.0	16.4	15.7	16.4	6.9	12.6
	70歳以上	235	25.1	28.1	29.4	18.7	16.6	17.9	17.9	7.7	19.1	3.4	3.4	8.5
	女性計	1,354	37.7	34.6	28.4	29.0	31.0	22.2	21.3	15.5	16.3	13.3	14.2	14.0
	18～29歳	127	34.6	39.4	18.9	19.7	28.3	32.3	19.7	25.2	15.0	18.9	11.0	10.2
	30代	191	43.5	31.4	23.6	29.3	34.0	31.9	16.8	17.8	16.2	17.8	36.6	9.9
	40代	244	44.3	36.5	37.7	29.1	35.2	23.8	21.3	16.8	17.6	18.9	21.3	13.5
	50代	223	45.3	43.5	40.4	30.5	36.8	21.5	24.7	18.8	18.4	13.9	8.1	13.9
	60代	228	38.2	35.1	35.1	35.1	31.1	21.5	25.9	18.9	14.0	12.3	7.9	16.7
70歳以上	327	24.8	27.2	15.3	26.9	23.2	12.2	18.3	5.2	16.5	4.6	6.1	15.9	

		調査数	調べものや本を探す相談がしやすい	電子書籍の充実	開館時、予約した本をセルフで受け取れる	イベントを定期的に実施している	べーリス、交流ができる	おはなし会など子ども向け事業の開催	その他	特にない	無回答
全体		2,300	11.1	8.9	8.5	6.0	6.0	3.9	3.2	17.8	4.5
性・年代別	男性計	913	11.6	10.5	7.8	5.0	5.5	3.1	2.8	23.2	2.6
	18～29歳	88	12.5	6.8	10.2	4.5	6.8	4.5	3.4	20.5	3.4
	30代	91	6.6	17.6	7.7	4.4	5.5	3.3	2.2	24.2	1.1
	40代	147	5.4	15.6	4.8	6.8	2.7	4.8	4.1	17.7	1.4
	50代	182	9.9	14.8	13.7	6.0	3.3	3.8	2.7	15.9	1.1
	60代	159	13.8	8.2	6.9	4.4	7.5	1.9	4.4	23.9	1.3
	70歳以上	235	16.6	3.8	4.7	3.8	7.2	1.7	1.3	32.3	6.0
	女性計	1,354	10.8	7.9	9.2	6.8	6.4	4.5	3.4	14.0	5.0
	18～29歳	127	8.7	11.0	11.8	5.5	11.0	4.7	2.4	12.6	-
	30代	191	8.4	13.6	12.0	8.9	9.9	13.6	4.2	6.3	1.6
	40代	244	9.0	10.7	12.3	6.1	2.9	3.7	4.1	7.8	1.6
	50代	223	9.0	11.7	8.5	5.8	3.6	3.1	4.9	10.3	1.3
	60代	228	11.0	5.3	9.2	7.9	7.0	3.1	3.5	14.0	2.6
70歳以上	327	15.9	0.9	4.3	6.4	7.0	1.8	1.8	25.4	15.9	

- 月に1回以上利用している人では、「本の種類や数が充実している」(64.5%)が6割を超えて最も多く、次に「借りたい本をすぐ借りられる」(44.3%)、「雰囲気や居心地がよい」(29.5%)。
- 2～3年に1回以上利用している人では、「本の種類や数が充実している」(49.5%)が5割近く、次に「雰囲気や居心地がよい」(37.0%)、「借りたい本をすぐ借りられる」(35.4%)。
- 利用しなかった人では、「雰囲気や居心地がよい」(32.1%)が最も多く、次に「駐車場が十分にある」(29.1%)、「本の種類や数が充実している」(27.6%)。

図表 図書館をより魅力的にするための充実が必要なサービスや設備

【利用頻度別】※複数回答(5つまで)

単位:%

	調査数	本の種類や数が充実している	雰囲気や居心地がよい	駐車場が十分にある	借りたい本をすぐ借りられる	本の貸出・返却拠点の場所が便利(アクセス)	飲食ができるスペース	読書スペースの充実	実公共Wi-Fiの充実	インターネット環境(パソコン)	静かに調べものや読書ができる環境	閉館時も予約した本を受け取れる	子どもと気兼ねなく利用できる環境
全体	2,300	36.0	32.9	29.4	27.1	26.9	20.5	20.0	16.0	15.7	12.9	12.5	
利用頻度	月に1回以上	183	64.5	29.5	24.6	44.3	29.0	19.1	25.1	16.4	18.0	15.8	19.7
	2～3年に1回以上	602	49.5	37.0	32.2	35.4	31.9	20.8	26.1	14.0	20.4	18.1	15.4
	利用しなかった	1,489	27.6	32.1	29.1	22.0	25.0	20.7	17.1	17.0	13.7	10.5	10.5

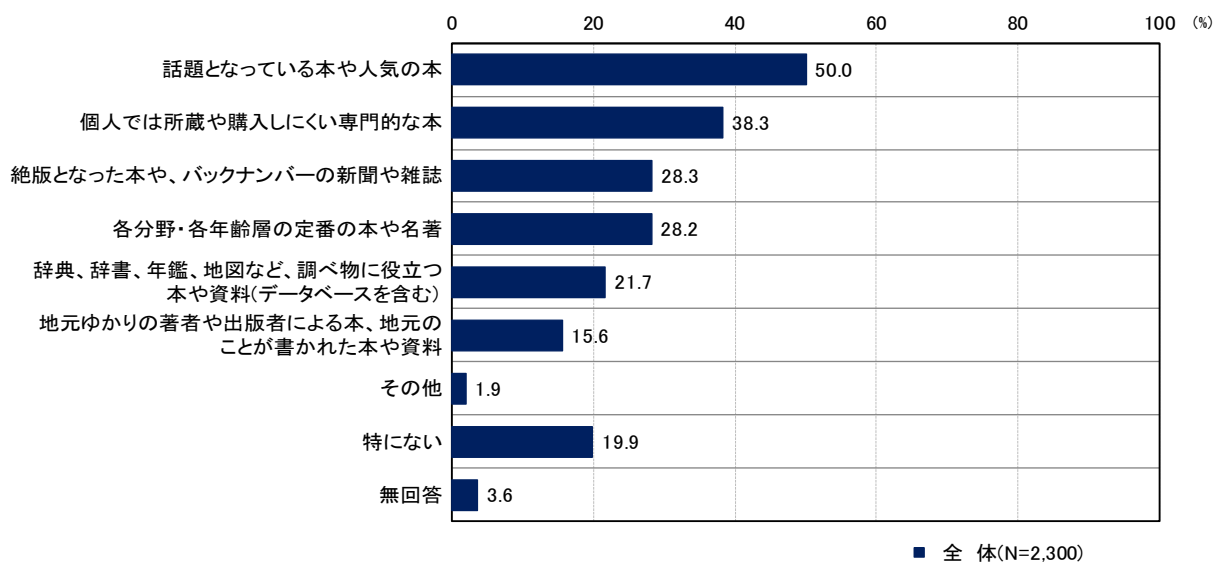
	調査数	情報が豊富なおすすめ本紹介などの	調べものや本を探す相談がしやすい	電子書籍の充実	図書館の職員を介さずセルフで受け取れる	開館時、予約した本を施している	イベントを定期的に実施している	べーリス、交流ができるスペース	おはなし会など子ども向け事業の開催	その他	特にな	無回答
全体	2,300	12.3	11.1	8.9	8.5	6.0	6.0	3.9	3.2	17.8	4.5	
利用頻度	月に1回以上	183	15.3	14.8	8.2	12.0	9.3	4.4	7.1	4.4	1.6	3.8
	2～3年に1回以上	602	15.1	12.5	11.0	9.6	7.0	8.0	4.5	4.3	4.7	3.0
	利用しなかった	1,489	10.8	10.3	8.2	7.7	5.3	5.4	3.3	2.6	25.4	4.2

(11) 公共図書館が充実すべき蔵書

問 16 あなたは、公共図書館としてどのような蔵書の充実を図るべきだと思いますか。特にあてはまるものを**3つまで**選んでください。

○ 「話題となっている本や人気の本」(50.0%)が最も多く、次に「個人では所蔵や購入しにくい専門的な本」(38.3%)と続く。

図表 公共図書館が充実すべき蔵書【全体】※複数回答(3つまで)



図表 公共図書館が充実すべき蔵書【性・年代別、平均読書冊数別】※複数回答(3つまで) 単位: %

	調査数	話題となっている本や人気の本	個人では所蔵や購入しにくい専門的な本	絶版となった本や、バックナンバーの新聞や雑誌	各分野・各年齢層の定番の本や名著	辞典、辞書、年鑑、地図など、調べ物に役立つ本や資料(データベースを含む)	地元ゆかりの著者や出版者による本、地元のこと書かれた本や資料	その他	特にない	無回答	
全体	2,300	50.0	38.3	28.3	28.2	21.7	15.6	1.9	19.9	3.6	
性・年代別	男性計	913	41.9	39.9	27.5	25.1	24.3	17.2	2.1	24.5	2.2
	18~29歳	88	53.4	51.1	26.1	31.8	25.0	11.4	3.4	15.9	2.3
	30代	91	48.4	37.4	29.7	28.6	24.2	6.6	2.2	25.3	1.1
	40代	147	51.7	36.7	32.7	29.3	23.1	15.6	1.4	18.4	1.4
	50代	182	38.5	51.1	40.1	26.9	26.9	18.7	2.7	18.1	0.5
	60代	159	39.6	38.4	24.5	22.0	29.6	20.1	3.1	26.4	1.3
	70歳以上	235	34.0	31.1	16.2	20.4	20.0	21.3	0.4	34.5	5.1
	女性計	1,354	55.9	37.3	28.9	30.7	20.1	14.7	1.6	16.5	4.1
	18~29歳	127	59.1	40.2	24.4	29.1	18.9	9.4	2.4	15.0	-
	30代	191	62.8	42.9	31.9	40.3	28.3	11.0	1.6	9.9	1.0
	40代	244	63.1	43.4	41.4	30.3	18.9	14.3	1.6	9.0	0.4
	50代	223	57.8	49.3	31.4	28.7	19.7	16.6	1.8	14.3	1.3
60代	228	57.9	38.2	30.7	34.2	16.2	16.2	0.4	15.8	2.2	
70歳以上	327	42.2	19.9	16.2	24.8	19.3	17.4	1.8	28.4	13.8	
平均読書冊数別	月に10冊以上	66	60.6	54.5	43.9	39.4	25.8	19.7	4.5	3.0	3.0
	月に5冊~9冊	81	55.6	46.9	35.8	33.3	22.2	14.8	3.7	7.4	1.2
	月に3冊~4冊	200	54.5	42.5	30.0	34.5	24.5	17.0	3.5	7.5	4.0
	月に1冊~2冊	374	55.9	47.3	38.2	33.2	23.3	17.9	1.9	8.3	2.1
	年に数冊程度	787	54.1	40.0	30.5	30.1	23.4	18.7	1.7	14.6	2.8
	まったく読まない	726	39.5	28.8	18.2	20.4	18.0	10.9	1.2	38.8	3.9

福岡市総合図書館新ビジョン(第1次ビジョン)の成果について

【基本理念】 市民がくつろぎ、本や人と楽しくふれあえる、新たな学び・情報・交流の拠点となる図書館

総合図書館新ビジョン(平成26年度～令和7年度)		前期事業計画(平成26年度～平成30年度)		後期事業計画(令和元年度～令和7年度)	
新たな図書館像	図書館像実現のための基本方針	項目	主な取り組み、成果	主な取り組み、成果	
<p>誰もが楽しめる魅力ある図書館</p>	<p>ア 誰もが利用できる図書館サービス イ 魅力ある図書館</p>	図書資料の貸出・返却拠点の新設	<ul style="list-style-type: none"> 返却拠点を3か所新設(木の葉モール橋本、ふくふくプラザ、九州がんセンター)、貸出拠点を科学館に設置 	<ul style="list-style-type: none"> 早良南図書館の開館 南市民センターの大規模改修にあわせた、南図書館のリニューアル 返却拠点をアイランドシティセンターマークスゲートに新設 交通の便の良い場所への新たな拠点の設置に向けて協議 	
		利用時間の見直し	<ul style="list-style-type: none"> 総合図書館の開館時間を10時～20時に拡大(1時間延長) 東図書館の開館時間を9時～20時に拡大するとともに、休館日を月1回に設定し、他図書館と比較し開館日を拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 新設の早良南図書館の開館時間を9時～20時、休館日を月1回に設定 	
		図書館イベントの充実	<ul style="list-style-type: none"> 従来の子ども向けおはなし会に加え、大人向け読書イベントを開催、充実 	<ul style="list-style-type: none"> 絵本月間や図書館マンスなどで総合図書館の3部門と分館と連携したイベントの開催や幅広い年齢層に向けたイベントを充実させるとともに、市関連部署と連携したイベントを企画・実施 	
		快適な空間づくり	<ul style="list-style-type: none"> 総合図書館のエントランスホールに語らいの広場を新設し、季節に応じた市民参加型イベントを開催 	<ul style="list-style-type: none"> えほんのひろばや読書スペースなど、こども図書館をリニューアル 総合図書館の設備更新を計画的に実施 	
<p>さまざまな情報を求める市民に応える図書館</p>	<p>ア 幅広い資料・情報の収集・保存 イ レファレンスサービスの充実・強化 ウ ネットワーク機能の充実 エ 情報化の進展に対応したサービスの向上</p>	図書館サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> 図書館ごとに特色をもった資料収集方針を策定し、館ごとの特徴づけを実施 電子メールによるレファレンスサービスを開始 起業・経営、医療、子育て支援等の事業を実施 総合図書館に公衆無線LAN環境を整備 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年3月に電子図書館を開館 図書資料の収集方針に沿った資料収集を行うとともに、その資料を幅広く活用できる方策を検討 ビジネスや医療、子育て支援などの地域の課題解決支援のための情報提供 	
		地域読書活動への支援	<ul style="list-style-type: none"> 団体貸出登録数及び活動の増加 地域の読書活動ボランティアの育成促進 	<ul style="list-style-type: none"> 公民館や留守家庭子ども会、高齢者施設等への団体貸出登録を促進 地域の読書活動ボランティア団体の育成支援 	
		市関連施設の図書室の相互協力	<ul style="list-style-type: none"> 議会図書室との連携実施 ふくふくプラザ、科学館との連携開始 		
<p>子どもと本をつなぐ図書館</p>	<p>ア 「福岡市子ども読書活動推進計画」に基づく子どもの読書活動の推進 イ 学校図書館との連携</p>	子どもへの読書普及	<ul style="list-style-type: none"> モデル児童図書リストを毎年発行して配布 中、高校生向けのイベントを試行実施 地域の読書活動ボランティアの育成支援 	<ul style="list-style-type: none"> 中、高校生を対象とした図書館イベント等の企画、実施 小、中学生の図書館見学や参加型イベント実施時にあわせて図書館利用者登録の推奨 地域の読み聞かせボランティア等の育成講座の推進 子どもと本をつなぐ機会の充実 	
		学校図書館への支援	<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館支援センターの開設 全市立小、中学校へ訪問し、支援センター事業の周知を図り、特に小学校からの相談や支援が拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 「学校図書館支援センター利用の手引き」を作成し、教員・学校司書への利用勧奨を推進 引き続き、学校図書館の人的・物的支援を推進 	
<p>総合図書館の特色を生かした図書館</p>	<p>ア 映像資料部門の充実 イ 文書資料部門の充実</p>	映像資料部門の充実	<ul style="list-style-type: none"> 市民センター等でアジア映画上映を実施し、図書館の活動を周知 アジア映画上映作品にあわせたポスター展示を行い、映像文化の普及・振興等を推進 	<ul style="list-style-type: none"> アジア映画等の公的施設等への有料貸与、公民館での上映を開始 図書館で所蔵する映画ポスター等の資料を活用した企画展示の実施 	
		文書資料部門の充実	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的公文書、古文書資料、郷土資料のデジタル化を推進 歴史的公文書等の展示により公文書館機能の理解促進 メディアを活用した広報による文学館の認知向上 	<ul style="list-style-type: none"> 公文書や古文書資料、郷土資料のデジタル化、インターネットによる情報提供の推進 文学資料のデジタル化などにより閲覧や閲覧に対応し、資料の保存と活用の両立の推進 	
<p>4つの図書館像の実現を効果的に支える効果的な図書館運営</p>	<p>・施設の有効活用と管理運営体制 ・職員の研修体制の確立 ・積極的な情報発信</p>	図書館運営の強化	<ul style="list-style-type: none"> 総合図書館の施設管理及び東図書館の運営に指定管理者制度を導入 総合図書館駐車場を、図書館利用者以外に有料開放し財源を確保 	<ul style="list-style-type: none"> 早良南図書館の運営に指定管理者制度を導入 ふるさと応援寄付の広報強化等による財源確保の推進 	
		情報発信の推進	<ul style="list-style-type: none"> HPをリニューアルし、見やすさ使いやすさを改善 フェイスブックやツイッター、LINEなどSNSを活用した情報発信開始 月1回のメールマガジン配信開始 	<ul style="list-style-type: none"> 市の文化施設との展示やイベントの連携及び相互PRを推進 	

成果指標及び目標数値の推移について

(1)成果指標・利用状況目標数値

		初期値(H25年度)	中間値(H30年度)	最新値(R5年度)	R5(R7)目標値
成果指標	利用者の図書館サービス満足度	75.5	88.9	90.5	90.0
利用状況の目標数値	貸出利用者数	1,290,720	1,214,402	1,169,152	1,400,000
	個人貸出冊数	4,633,083	4,108,973	3,884,860	4,800,000
	入館者数	(未計測)	(未計測)	2,384,703	3,500,000
	新規登録者数	29,915	24,712	23,831	30,000

(2)各事業ごとの目標数値

新たな図書館像	事業計画内容	目標項目	初期値(H25年度)	中間値(H30年度)	最新値(R5年度)	R5(R7)目標値
1 誰もが楽しめる魅力ある図書館	貸出・返却拠点等の新設	貸出拠点数	13地点	13地点	14地点	15地点
		返却拠点数	21地点	24地点	26地点	27地点
	図書館イベントの充実	イベント回数	809回	1,067回	1,083回	1,150回
		参加者数	48,671人	24,482人	35,486人	55,000人
2 さまざまな情報を求める市民に応える図書館	課題解決型支援の充実	実施事業	0件	6件	8件	12件
	団体貸出先の拡大	登録団体数	344団体	396団体	470団体	420団体
		配本冊数	236,455冊	212,506冊	171,488冊	244,000冊
3 子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	学校図書館支援センターの充実	学校図書館への配本数	0冊	6,138冊	5,345冊	4,500冊
		学校図書館への対応件数	0件	186件	183件	120件
4 総合図書館の特色を生かした図書館	文学館の利用拡大	企画展、講座等参加者	5,901人	1,032人	6239人	2,100人
4つの図書館像の実現を支える効率的で効果的な図書館運営	図書館ボランティアとの共働の推進	活動時間	4,084時間	2,856時間	1,982時間	5,000時間
	施設の有効活用などによる財源確保	収入額	785千円	5,136千円	15,650千円	9,000千円
	情報発信の推進	ホームページアクセス数	224万回	221万回	246万回	230万回
		メルマガ登録者数	0人	344人	634人	800人

○福岡市総合図書館の現状と課題

【第1次ビジョンにおける「福岡市図書館の課題」別の整理】

1. これまで図書館を利用していない層への利用促進

(1) 資料収集

現状

蔵書冊数(令和5年度末)は、総合図書館約130万冊、分館約74万冊、合計約204万冊。市民一人当たり蔵書冊数は1.3冊で、政令指定都市で18位。行政資料約5.4万点、公文書約2.4万冊、古文書資料約8.7万点、郷土資料約10.6万冊、文学資料約2.5万点を収蔵。映像資料は、映画フィルムは寄託を含め約7,100本、ビデオ・DVD約5,500点、CD・カセット約14,900点を収蔵。

課題

蔵書冊数は、閉架書庫も含め活用している状況であり、現状で大幅に増やすことは困難。映像資料については、原則寄贈、寄託のみの対応としている。令和6年度に実施した市政意識調査では、本の品揃えに対する不満が3割を超えている。資料購入費については、新設時の分館向け予算を除いて減少～横ばい傾向。資料費の確保に努めるとともに、選書にあたる職員の幅広い知識の習得、情報収集能力、市民ニーズの把握など効率的な収集が求められている。

(2) 貸出冊数等

現状

貸出冊数(令和5年度)は、総合図書館約94万冊、分館、アミカス、科学館約294万冊、合計約388万冊。第1次ビジョン開始前の平成25年度(約463万冊)から大幅に減少。貸出利用者数(同)は約117万人で、平成25年(約129万人)と比べて減少。予約件数(同)は約113万件。うちインターネットによる予約は約98万件で、予約全体の8割を超え、年々増加している。

課題

10年前と比較し、利用の減少が続いている。市政意識調査では、過去3年間図書館を利用していない市民の割合が64.7%となり、未利用者層に対しての利用促進策をさらに検討していく必要がある。

(3) 読書普及活動・館内イベント

現状

子どもたちや市民にお話の楽しさを伝え、読書へのきっかけづくりをすすめるため、職員やボランティアにより絵本の読み聞かせやストーリーテリングを行うおはなし会を開催しているほか、工作教室、折り紙教室、図書館の特別展示などの催し物を開催。また、体験講座や大人向けの講座など幅広い層に向けて多様なイベントを実施。地域における読書活動のリーダーである文庫運営に従事するボランティアの資質向上を目的として、「読書活動ボランティア講座」を毎年開催している。

課題

新型コロナウイルス感染症拡大時は、イベント開催の縮小をせざるを得なかったが、5類移行後は、イベントの開催を通常に戻し、参加者も回復してきている。

市政意識調査では、イベントやおはなし会について「知らない」との回答が 48.3%と、図書館の利用者増につなげるには、更なる効果的な周知が必要である。

(4)ICT 化/DX 化

現状

IC タグを使った自動貸出機の導入(平成 19 年)、自動返却機の導入(平成 25 年)、電子図書館の開館(令和3年)、デジタル貸出カードの開始(令和5年)など、ICT 化・DX 化を積極的に進めてきた。

令和6年10月の図書館システム更新に併せて、図書館が所蔵している本や資料をウェブ上で本棚のように見ることができ「Web 書棚」、探したい本のヒントになる言葉や文章の入力で、AIが関連する本を紹介してくれる「蔵書探索AI」、好きなテーマで自分だけの本棚を作成し、気になる本や読んだ本を登録できる「マイ本棚」機能の提供を開始した。

令和6年12月からは、長蛇の列が課題となっていた学習室の利用について、座席事前予約を開始した。

課題

市政意識調査では、電子書籍の購入は50代以下では2割を超え一定の定着が見られるが、電子図書館の利用は 2.4%のみで、知っているも 20.2%と低迷。

9割の世帯が所有するスマートフォンは、社会インフラとなっており、ICT 化・DX 化を活かしてサービスの向上を図っていく必要がある。

おはなし会やビブリオバトルなどの館内イベントについて、オンライン上での実施なども一つとして考えられる。

(5)情報発信

現状

図書館の開館情報やイベント情報等をホームページやメールマガジン、X(旧 Twitter)、Facebook を通じて発信している。

福岡市の文化施設や国の機関の展示・イベントに合わせた連携展示や、館内イベントの実施に連携した情報発信により、X での投稿の表示数や、登録者数は順調に伸びている状況である。

課題

市政意識調査では、図書館が実施しているサービスについての認知度は十分でないとの結果が出ており、普段図書館を利用していない市民も含めた情報発信のあり方についてさらに検討を行っていく必要がある。

2. 身近で便利な図書館サービス

(1)貸出・返却拠点の整備

現状

福岡市総合図書館は、生涯学習推進の中核施設として、図書資料部門、文書資料部門、映像資料部門の3部門で構成されており、映像ホールなどを併設、収蔵能力200万冊の規模を誇る図書館として、平成8年6月29日に開館した。

福岡市の図書館は、本市の図書サービスを総括する総合図書館本館と、各区市民センター内や併設の7分館、地域交流センター内の4分館により図書館サービスを実施。

市内には本館・分館を含め貸出拠点 14 か所、返却拠点 26 か所がある。

また、南区の南西部に、新たな図書館分館も含めた地域交流センターを設置する方向で

検討が進められている。

課題

更なる全市的な利便性向上に向け、貸出・返却拠点のあり方を継続して検討していく必要がある。

(2) 団体貸出サービス

現状

子どもたちへの読書推進活動を行う地域団体、留守家庭子ども会や学校・PTAの登録団体に対し、配本車等による図書資料の団体貸出を実施している。

課題

各小学校区に設置されている公民館を拠点に、地域読書活動への支援を進めることで、市全域における身近な地域での図書サービス利用に寄与するものであり、さらなる公民館への団体貸出の活用を進める必要がある。

登録団体の担い手が高齢化しており、活動支援も必要となっている。

(3) 高齢者・障がい者対応

現状

総合図書館内に点字図書館を併設している。

高齢者向け大活字図書や視覚障がい者が触って楽しめる布の絵本や、弱視者の方々も活字資料を利用できるよう大活字本を整備するとともに、拡大読書機や拡大鏡を設置している。

心身の障がいのため図書館への来館が困難な方には、図書資料の郵送貸出事業(無料)を実施している。

課題

令和元年度に制定された「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」(読書バリアフリー法)に基づき、地方公共団体は、視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する計画を策定するよう努め、誰でも読書が楽しめる環境整備を推進することが求められている。

(4) ICT化/DX化(再掲)

(5) 総合図書館本館のリニューアル

現状

福岡市総合図書館は、福岡市のアセットマネジメント計画に基づき、竣工後35年を経過する令和13年以降の早い時期には、施設休館を伴う大規模改修工事を行う必要がある。

課題

大規模改修に向けては、現在の施設面での課題を整理し、改修の内容や、事業手法、休館中の運営体制などを検討し、基本構想、基本計画を順次策定していく必要がある。

3. 課題解決型のサービス機能の充実

(1) レファレンスサービス

現状

調べものは、本の閲覧、貸出に並び図書館の重要な役割であるため、従来の窓口、電話、文書によるレファレンスに加え、来館しなくとも利用できるよう、電子メールや HP 活用などデジタル化を進めた。利用は、窓口が 8 割、電話が 2 割を占める。

課題

市政意識調査では、図書館利用者においてはレファレンスサービスは2割前後利用されているが、図書館利用者でもサービスを知らない者が4割前後存在している。

国立国会図書館のレファレンス協同データベースを活用し、当館の HP 上で、レファレンス事例を参照可能とするなど、より効果的なサービスの周知・PR が必要である。

また、利用者が求める情報はデジタル化の進展に伴い、ある程度、情報検索をした上で、さらに詳細な情報を求めるなど、ますます多様化・高度化している。

これらの利用者の課題や問題を的確に捉える能力など、職員の資質向上を図る専門研修も、これからの図書館に求められる。

(2) 人材育成

現状

福岡市図書館の職員数は、令和6年4月1日現在、一般職員40人、会計年度任用職員100人、全体で140人となっており、総合図書館に77人、運営を指定管理者が行う2分館を除く9分館に63人を配置している。

課題

司書資格者は81人であるが、多様化、高度化する市民ニーズに対応するには、研修をはじめ専門職としての能力の向上を継続して図っていく必要がある。

4. 子ども読書活動の推進

(1) こども図書館及び各分館

現状

総合図書館1階のこども図書館及び各分館では、子どもが読書の楽しみを発見し、読書習慣の形成に役立つよう、幼児から中学生までの発達段階に応じた読書活動を支援するとともに、成長に役立つ各分野の紙芝居、児童書等の収集や貸出を実施している。

課題

「福岡市子ども読書活動推進計画(第4次)」に基づき、教育委員会事務局や学校と連携して、子どもの読書活動の推進に向けて、一歩ずつ取り組みを進める必要がある。

子どもが興味を抱くように各年齢層に応じた本を紹介するリスト等を作成し、配布しているが、紹介された本と子どもたちが出会えるよう、電子図書館も含めた蔵書の充実が重要である。

また、子どもの読書活動を支えるための読書リーダーの育成を図っていく必要がある。

(2) 学校図書館支援センター

現状

平成27年度に学校図書館支援センターを設置し、学校図書館の環境整備や活用等についての助言や指導を行っている。相談対応や学校訪問、学習支援用図書の貸出など事業の活用が進んでいる。

また、新設校の設計段階からの助言や購入図書の選書など支援内容も広がっている。

課題

離島や特別支援学校、経験が少ない学校司書の配置校などの支援が一層求められてお

り、それに応えるセンターの体制づくりが必要である。
特に、読書離れが進む中学校での支援センター利用を促す対策が必要である。

5. 映像資料・文書資料の有効活用

(1) 公文書・行政資料

現状

福岡市総合図書館は、公文書館相当施設として、公文書館法により定められた歴史資料として重要な公文書等の保存、利用を適切に行っている。近年では、電子データのみで作成される公文書や行政資料が増加している。

課題

公文書の電子化が進む中、歴史的電子公文書を永年保存し閲覧に供する手法は、未整理となっている。

行政資料についても、必要に応じ総合図書館において電子データを印刷し閲覧に供しているが、今後、電子公文書・電子資料の整理・保存方法及び維持管理等についての検討が必要。

(2) 古文書

現状

古代、中世、近世及び近現代の郷土福岡に関する歴史資料を収集、整理・保存し、閲覧に供するとともに、調査・研究を実施している。

課題

資料の保存と活用(公開)の両立を図る必要があり、デジタルデータ化が必須である。デジタルデータ化には多大な費用、維持管理上のコストも発生するため、今後も提供のあり方を含めた調査・検討が必要である。

また、データベースの公開により、利用者の利便性が向上した半面、システム対応などデータ管理上の業務や費用が新たに発生している。

(3) 郷土資料

現状

近世までは筑前国、近代以降は福岡市を中心とする福岡県内の各分野の資料、及び九州・山口各県の地方史誌等を収集、整理・保存し、閲覧に供するとともに、調査・研究を実施している。

課題

今後、特色ある地域資料の収集を一層進める必要がある。

資料保存のため原則貸出不可となっている郷土・特別資料室の本について、貸出可としてほしいという要望があり、利便性と管理上の負担を踏まえ、対応について検討が必要である。

(4) 文学資料(福岡市文学館)

現状

福岡ゆかりの作家等に関する文学資料を収集、整理・保存し、閲覧に供するとともに、実行委員会による文学振興事業等を実施している。

市民の文学に関する生涯学習活動を支援することを目的として、「福岡市文学館構想」に基づき福岡市文学館において、企画展・文学講座等の事業を実施している。

課題

文学資料の整理と開示にあたっては、整理に必要な時間の確保と保存用物資の準備やデジタル化、またデジタル化を行うための業者委託費や作業人員など含めた長期的な計画に基づく準備や体制が必要である。

また、対象とする文学者・作品の範囲については、他館及び周辺自治体の文学館等との協調・機能分担も含めた再検討が必要である。

(5) 映像資料の収集・保存

現状

国内外で制作された映像作品(映画やビデオ映像作品)、特にアジアの映像作品や九州や福岡に関係のある映像作品を中心に収集するとともに、貴重な映像文化財として長期保存すべく、フィルムアーカイヴを運営している。

課題

当館の海外の映画関係者とのネットワークの新規構築や収集作品を選考する機会が減少している。

収集手段が寄贈または寄託となり、新規収集の困難性が増している。

フィルムによる原資料の長期保存のため、技術の継承や同時にデジタル化対応の取組みも必要となる。

(6) 映像ホール・シネラ

現状

映像文化の普及・振興を図るため、博物館や美術館における常設展示室同様の機能を果たすべき施設として映像ホール・シネラを設置し、収集したアジア映画や日本映画などの企画上映を行っている。

課題

来場者の大半が65歳以上の高齢者で、固定化傾向にあるため、他団体や福岡市関連部局と連携した企画を実施すること、フィルムアーカイヴの活動内容、上映プログラムのより効果的な広報等によって、利用していない市民の来場を促す必要がある。

上映機器について、老朽化に伴う更新について長期計画の作成とフィルム上映に必要な機材の長寿命化にも対応していく必要がある。

(7) ビデオライブラリー

現状

貸出数(令和5年度)は、約2.7万点で、減少している。

現在、VHSやDVDを配架しているビデオライブラリーについて、令和6年度中にレイアウトを変更し、展示コーナーを新設する予定である。

課題

レイアウト変更後のビデオライブラリーエリアとミニシアターの活性化について、検討する必要がある。

6. 運営体制のあり方

現状

図書館運営について、平成28年4月に総合図書館に指定管理者制度を導入し、建物の管理・運営を開始したほか、同年6月移転改築した東図書館に管理・運営を導入、令和3年11月に新設開館した早良南図書館にも導入している。

課題

指定管理を導入した分館は他の分館と比較し休館日が少なく、開館時間が長いため、利用者の利便性の向上につながっているが、多額の費用を要している。

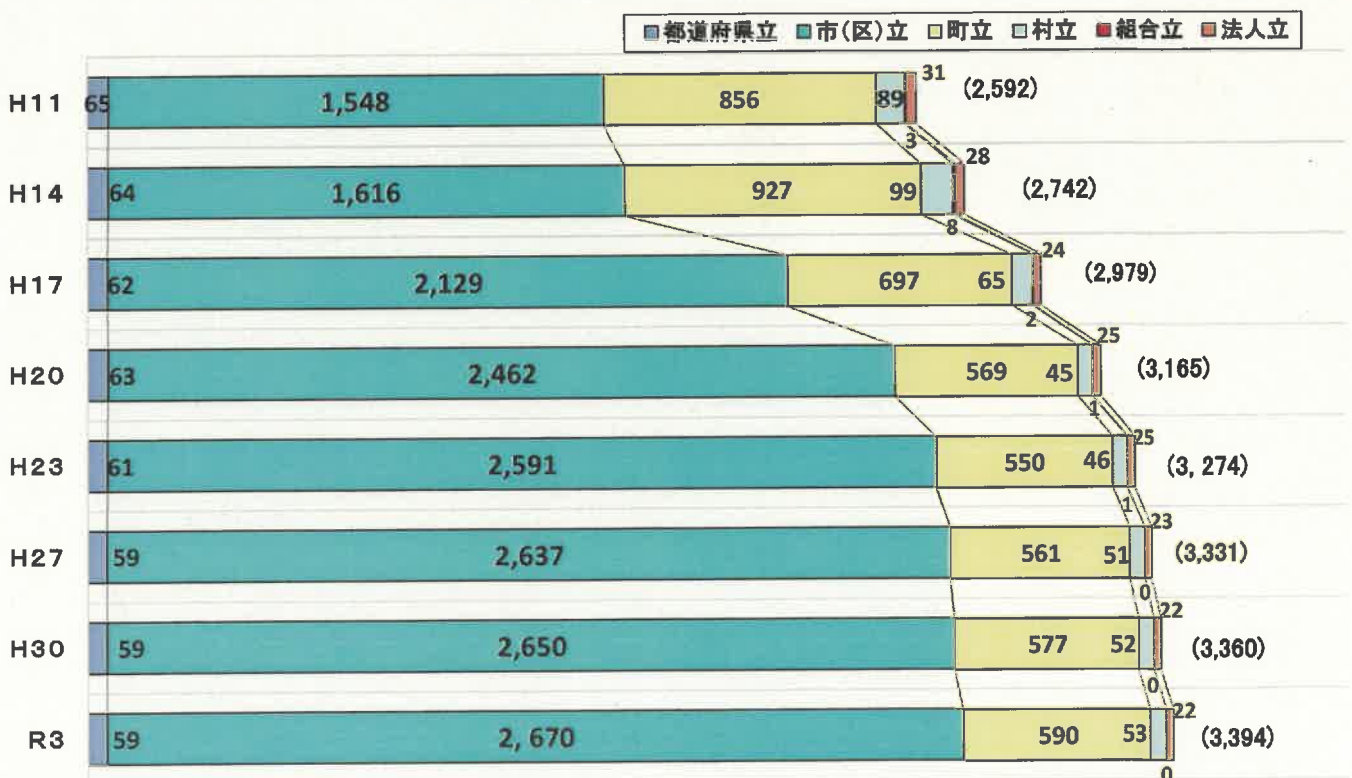
直営の分館の休館日や開館時間のあり方については、東図書館や早良南図書館の利用状況と、職員の勤務体制等を踏まえた上で慎重に検討していく必要がある。

全国の公共図書館の利用状況について

「図書館・学校図書館の運営の充実に関する有識者会議」
 (第1回) (令和6年12月17日(火)開催)
 会議資料より抜粋

- ・ 図書館数、蔵書数、貸出冊数、来館者数、登録者数
 帯出者数、レファレンスサービスの実施状況、
 評価の実施状況、図書館費の推移
- ・ デジタル環境の整備状況、電子書籍サービスの
 導入状況等
- ・ 障害者サービスの現状

図書館数の推移



出典：社会教育調査

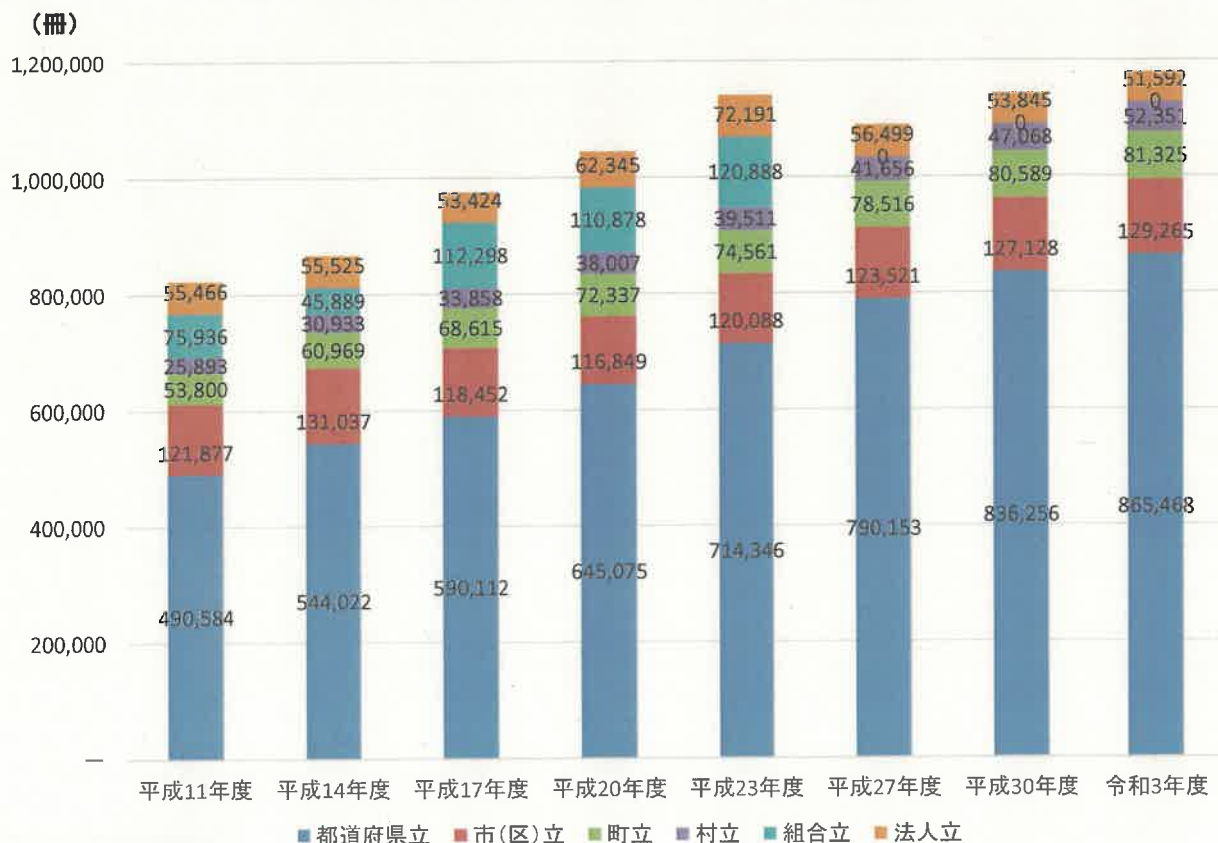
※平成20年度調査から、都道府県・市町村首長部局所管の「図書館同種施設」を含む

蔵書数の推移



出典: 社会教育調査

1館当たりの蔵書数(設置者別)



出典: 社会教育調査

貸出冊数の推移

(千冊)

	計	都道府県	市(区)立	町立	村立	組合立	法人立
平成10年度間	480,422	15,003	397,632	64,825	2,368	349	245
		(246)	(263)	(78)	(28)	(116)	(10)
平成13年度間	520,822	14,994	424,818	76,774	3,421	558	257
		(242)	(267)	(85)	(36)	(93)	(10)
平成16年度間	580,726	16,713	498,690	62,592	2,231	349	151
		(283)	(241)	(92)	(35)	(175)	(8)
平成19年度間	631,873	18,190	560,272	51,306	1,757	241	107
		(303)	(230)	(91)	(41)	(241)	(6)
平成22年度間	682,344	18,519	612,972	48,578	1,920	230	125
		(314)	(240)	(90)	(42)	(230)	(7)
平成26年度間	662,157	17,535	596,727	45,853	1,918	-	124
		(313)	(228)	(83)	(40)	-	(7)
平成29年度間	653,789	16,636	590,116	44,768	2,191	-	77
		(297)	(225)	(79)	(43)	-	(5)
令和2年度間	530,775	15,436	478,196	35,302	1,781	-	61
		(276)	(181)	(61)	(34)	-	(4)

※()は、図書館の貸出業務実施館1館当たりの貸出冊数

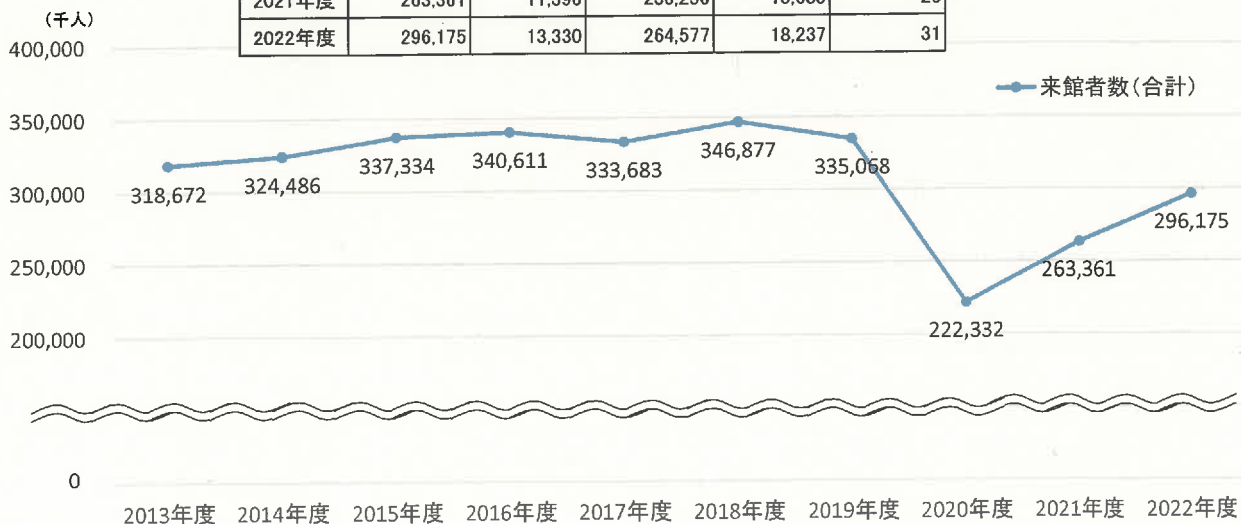
出典: 社会教育調査



公共図書館来館者数の推移

(千人)

	計	都道府県	市・区	町・村	私立
2013年度	318,672	18,765	276,571	23,227	109
2014年度	324,486	17,851	283,681	22,835	119
2015年度	337,334	17,625	295,629	23,988	91
2016年度	340,611	17,214	299,633	23,684	80
2017年度	333,683	16,558	295,080	21,971	74
2018年度	346,877	16,872	306,470	23,459	76
2019年度	335,068	16,463	296,531	22,017	57
2020年度	222,332	10,677	197,511	14,122	22
2021年度	263,361	11,396	236,256	15,683	26
2022年度	296,175	13,330	264,577	18,237	31



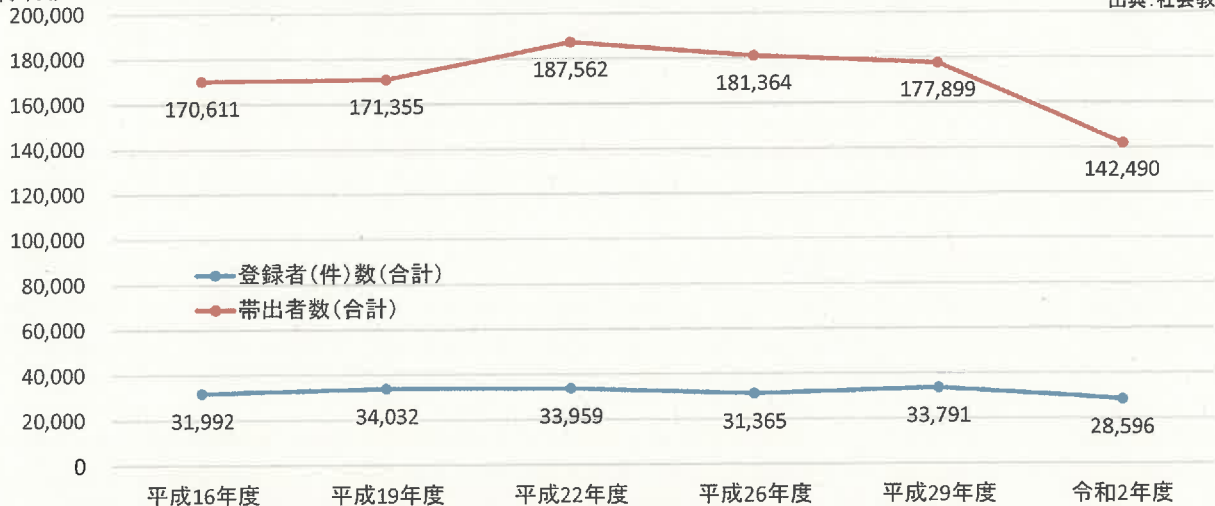
出典: 日本の図書館 統計と名簿(公益社団法人日本図書館協会)

登録者(件)数・帯出者数の推移

		計	都道府県	市(区)	町	村	組合	法人
H16年度	登録者(件)数	31,991,510	988,185	27,462,311	3,380,260	143,360	2,635	14,759
	帯出者数	170,611,404	5,491,287	146,890,329	17,346,524	714,944	127,278	41,042
H19年度	登録者(件)数	34,031,694	1,489,168	29,093,368	3,283,676	134,919	18,140	12,423
	帯出者数	171,355,117	4,761,987	152,951,254	13,103,508	437,748	66,086	34,534
H22年度	登録者(件)数	33,958,649	1,462,670	28,934,136	3,304,217	228,652	20,361	8,613
	帯出者数	187,562,478	4,266,851	170,479,523	12,228,653	485,564	64,744	37,143
H26年度	登録者(件)数	31,365,280	1,114,832	26,667,860	3,429,943	141,646	-	11,181
	帯出者数	181,363,743	4,217,900	165,265,969	11,354,332	494,468	-	31,074
H29年度	登録者(件)数	33,791,030	1,629,030	28,506,752	3,485,860	158,257	-	11,131
	帯出者数	177,898,626	4,064,062	162,427,291	10,839,018	539,917	-	28,338
R2年度	登録者(件)数	28,596,320	1,366,838	23,872,522	3,229,162	118,121	-	9,677
	帯出者数	142,489,684	3,918,137	130,011,281	8,085,635	459,170	-	15,461

(千件、千人)

出典: 社会教育調査



- 登録者(件)数: 館外貸出しを受けるための登録を当該館で行った者の数(件数)。
- 帯出者数: 図書を借用して館外へ持ち出した者の延べ人数。

レファレンスサービス実施状況の推移

		計	都道府県	市(区)	町	村	組合	法人
H16年度	実施館数	2,104	59	1,474	518	38	1	14
	実施件数	6,498	1,258	4,797	422	13	6	2
H19年度	実施館数	2,386	62	1,847	435	26	-	16
	実施件数	7,098	1,542	5,214	313	25	-	4
H22年度	実施館数	2,539	61	2,023	410	32	-	13
	実施件数	7,595	1,129	6,143	288	31	-	4
H26年度	実施館数	2,686	59	2,164	418	32	-	13
	実施件数	8,647	1,141	7,130	343	30	-	2
H29年度	実施館数	2,796	59	2,251	440	34	-	12
	実施件数	8,918	1,084	7,510	308	15	-	1
R2年度	実施館数	2,850	59	2,289	453	36	-	13
	実施件数	6,983	822	5,874	274	12	-	2

(館、千件)

(館)

3,500

レファレンスサービスの実施館数(合計)

3,000

2,500

2,000

1,500

0

平成16年度

平成19年度

平成22年度

平成26年度

平成29年度

令和2年度

出典: 社会教育調査

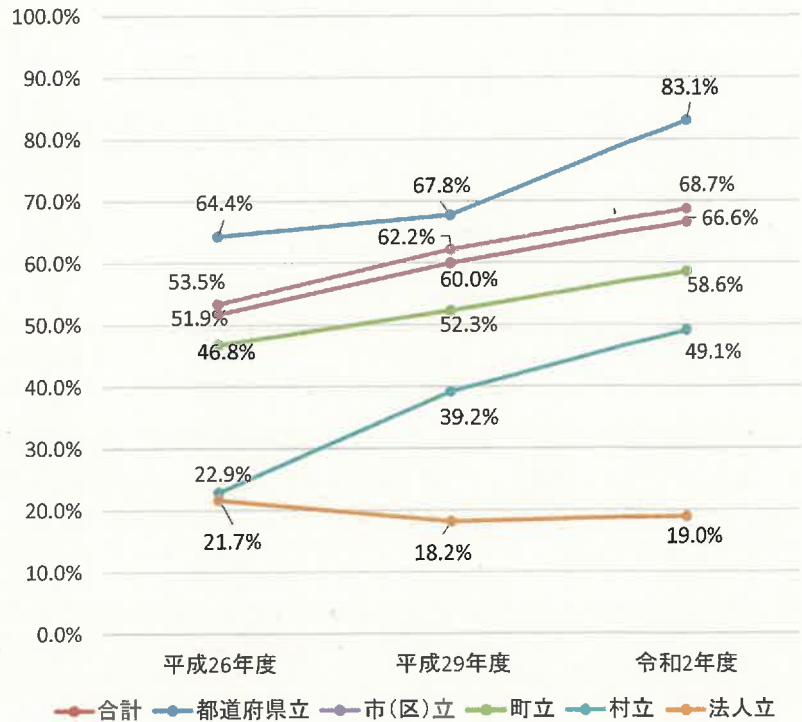


図書館における評価の実施状況

(館数)

年度/設置者区分	全国	都道府県	市(区)	町	村	法人立
平成27年度 (平成26年度の状況)	3,313	59	2,628	555	48	23
運営状況の 評価実施館数	1,721	38	1,407	260	11	5
運営状況の 評価実施館数(率)	52%	64%	54%	47%	23%	22%
自己評価	1,554	37	1,278	224	10	5
外部評価	927	17	760	144	5	1
評価結果の公表	1,353	31	1,148	164	9	1
平成30年度 (平成29年度の状況)	3,341	59	2,639	570	51	22
運営状況の 評価実施館数	2,004	40	1,642	298	20	4
運営状況の 評価実施館数(率)	60%	68%	62%	52%	39%	18%
自己評価	1,862	39	1,549	255	15	4
外部評価	1,207	25	991	180	10	1
評価結果の公表	1,551	38	1,335	166	11	1
令和3年度 (令和2年度の状況)	3,377	59	2,660	584	53	21
運営状況の 評価実施館数	2,248	49	1,827	342	26	4
運営状況の 評価実施館数(率)	67%	83%	69%	59%	49%	19%
自己評価	2,087	48	1,714	300	21	4
外部評価	1,460	32	1,204	210	13	1
評価結果の公表	1,723	44	1,472	194	12	1

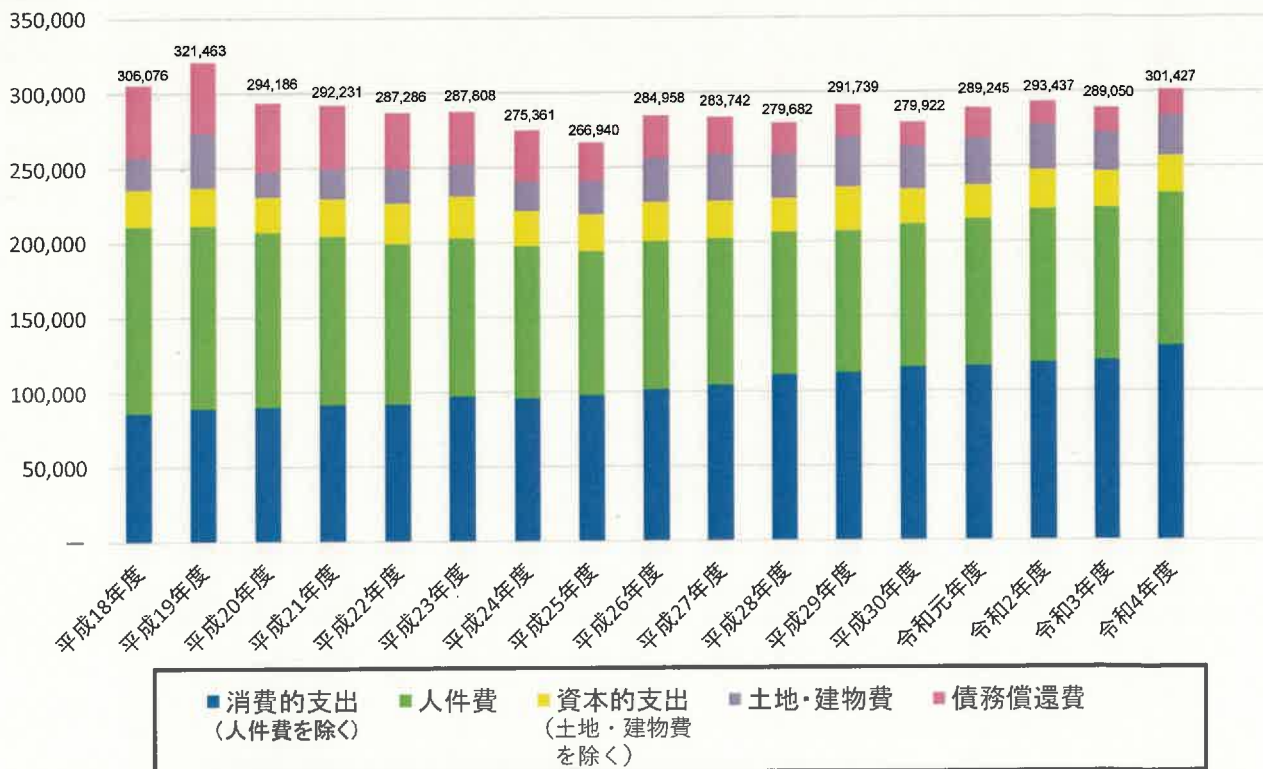
評価を実施している図書館の割合



出典: 社会教育調査

図書館費の推移

(百万円)



出典: 地方教育費調査報告書 (令和4年度は中間報告)

図書館におけるデジタル環境の整備状況

公共図書館におけるWi-Fiサービスの提供状況

質問（一つ選択）	2023年 回答数	割合 (/721)	2022年 回答数	割合 (/600)
利用者が使える無料のWi-Fiサービスがある	520	72.1%	393	65.5%
有料のWi-Fiサービスを案内している	1	0.1%	0	0.0%
Wi-Fiサービスは特に案内していない	149	20.7%	160	26.7%
その他	48	6.7%	42	7.0%
無回答	3	0.4%	5	0.8%
合計	721		600	

出典:「電子図書館・電子書籍貸出サービス調査報告2023」(一般社団法人電子出版制作・流通協議会 2024年1月)

公立図書館における電子書籍の導入状況

利用可能な電子 書籍について	平成27年	全館数に対 する割合	平成30年	全館数に対 する割合	令和3年	全館数に対 する割合
利用館数（合計）	127	3.8%	210	6.3%	398	11.7%
都道府県立	9	15.3%	12	20.3%	14	23.7%
市区町村立	118	3.6%	197	6.0%	383	11.6%
私立	0	0.0%	1	4.5%	1	4.5%

出典:社会教育調査

公立図書館における電子図書館サービスの導入状況

電子図書館サービス（電子書籍サービス）導入自治体数

自治体数
・基礎自治体 1741 ・都道府県 47
10月1日時点 計 1788 ※北方四島の6村除く

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
自治体数	112	256	436	520	579
割合	6.3%	14.3%	24.4%	29.1%	32.4%

電子図書館導入自治体比率（2024年の内訳）

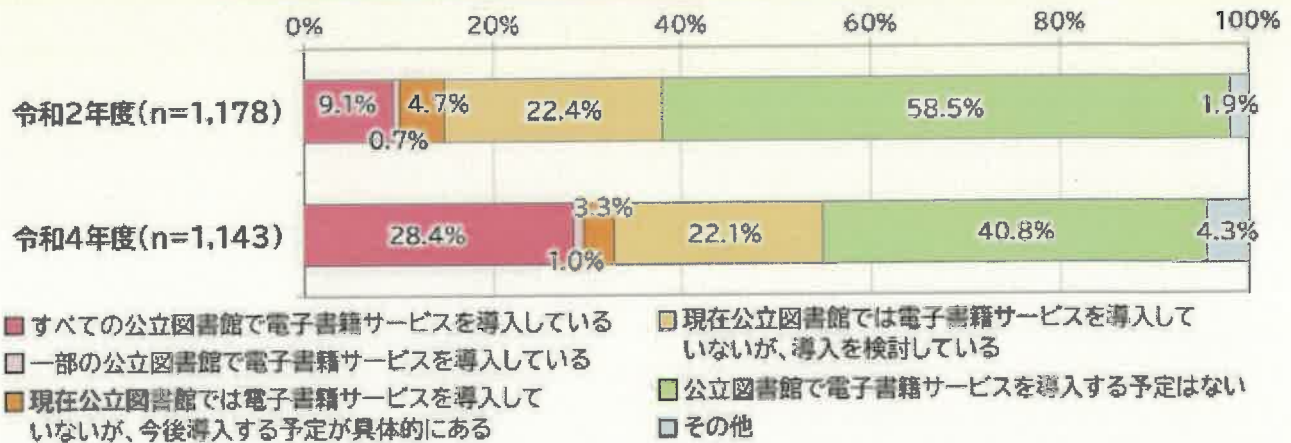
	都道府県 (47)	政令市 (20)	特別区 (23)	市 (772)	町 (743)	村 (183)
自治体数	28	18	18	354	113	48
割合	59.6%	90.0%	78.3%	45.9%	15.2%	26.2%

出典:「公共図書館 電子図書館サービス(電子書籍サービス)導入図書館 2024年10月1日」(一般社団法人電子出版制作・流通協議会 2024年10月30日)

公立図書館における電子書籍サービスの導入状況

電子書籍サービスを、「すべて」または「一部」の公立図書館で導入している地方公共団体の割合は、**29.4%**(28.4%+1.0%)。令和2年度調査の 9.8%(9.1%+0.7%)を上回り、導入が進んでいる。

公立図書館における電子書籍サービスの導入状況

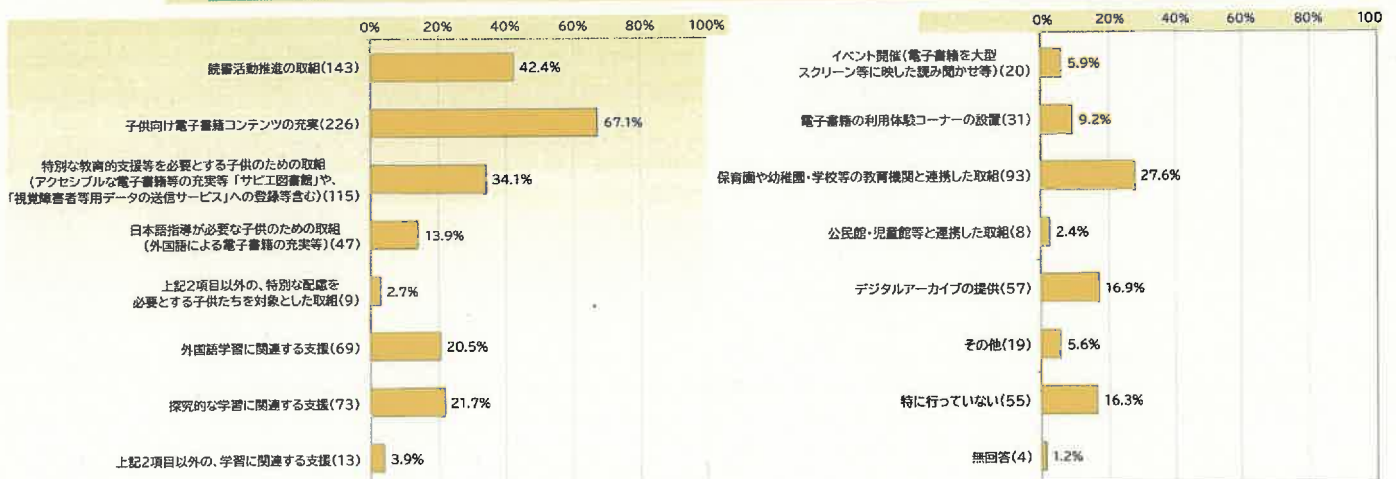


本調査における電子書籍の定義は、「電子機器(PC、タブレット端末、スマートフォン等)の画面で読むことができる書籍(教科書、問題集は除く)」。なお、令和2年度調査においては定義が異なり、「電子機器(PC、Kindleなどの電子書籍専用端末、iPadなどのタブレット端末、スマートフォン等)の画面で読むことができる書籍等」
 出典：文部科学省委託調査「令和4年度子供の読書活動の推進等に関する調査研究(電子図書館・電子書籍と子供の読書活動推進に関する実態調査)」
https://www.mext.go.jp/content/20230607-mxt_chisui02-000008064_1.pdf

公立図書館における電子書籍等を活用した子どもの読書活動推進の取組

「子供向け電子書籍コンテンツの充実」の回答割合が67.1%と最も高くなっている。「読書活動推進の取組」の回答割合が42.4%、「特別な教育的支援等を必要とする子供のための取組(アクセシブルな電子書籍等の充実等「サピエ図書館」や、「視覚障害者専用データの送信サービス」への登録等含む)」の回答割合は34.1%となっている。

公立図書館における電子書籍サービスを活用した取組 (n=337：複数回答)



出典：文部科学省委託調査「令和4年度子供の読書活動の推進等に関する調査研究(電子図書館・電子書籍と子供の読書活動推進に関する実態調査)」
https://www.mext.go.jp/content/20230607-mxt_chisui02-000008064_1.pdf

図書館における障害者サービスの現状

<障害者関係設備の保有状況> ※()内の数値は全体の図書館数に対する割合

- 拡大読書器・拡大鏡のいずれかを所有 1,832館(53.9%)
- 点字による案内 1,183館(34.8%)
- スロープ 2,140館(63.0%)
- 障害者用トイレ 3,026館(89.1%)
- 障害者用駐車場 2,688館(79.1%)

<障害者関係資料の保有状況>

- 大活字本 2,028,480冊/2,698館(79.4%)
- 点字図書等 408,143冊/1,738館(51.2%)
- 録音図書 751,437本/784館(23.0%)

※図書館数(N):3,394館

※出典:令和3年度 社会教育調査

図書館の設置及び運営上の望ましい基準(平成24年12月19日文部科学省告示第172号)(抄)

第二 公立図書館 — 市町村立図書館(※都道府県立図書館に準用)

1 管理運営(六)施設・設備

2 市町村立図書館は、高齢者、障害者、乳幼児とその保護者及び外国人その他特に配慮を必要とする者が図書館施設を円滑に利用できるよう、傾斜路や対面朗読室等の施設の整備、拡大読書器等資料の利用に必要な機器の整備、点字及び外国語による表示の充実等に努めるとともに、児童・青少年の利用を促進するため、専用スペースの確保等に努めるものとする。

3 図書館サービス(四)利用者に対応したサービス

市町村立図書館は、多様な利用者及び住民の利用を促進するため、関係機関・団体と連携を図りながら、次に掲げる事項その他のサービスの充実努めるものとする。

ウ 点字資料、大活字本、録音資料、手話や字幕入りの映像資料等の整備・提供、手話・筆談等によるコミュニケーションの確保、図書館利用の際の介助、図書館資料等の代読サービスの実施

公立図書館における障害者サービスの現状

資料種別の所蔵館数

令和2年度末時点
※n=1,390館

- 点字資料・点訳絵本(冊子) 1,030館(74.1%)
- 音声デジター 361館(26.0%)
- マルチメディアデジター 297館(21.4%)
- 大活字本(市販) 1,280館(92.1%)
- カセットテープ(障害者向け) 425館(30.6%)
- OLLブック 921館(66.3%)

対面朗読サービス

- 実施体制あり 475館(34.2%)

対面朗読の実施者の状況

※n=456館

- 職員 111館(24.3%)
- 音訳者・図書館協力者(有償) 101館(22.1%)
- 音訳ボランティア(無償) 186館(40.8%)
- その他 23館(5.0%)

点字・録音資料の郵送貸出

- 実施体制あり 496館(35.7%)

一般資料の郵送貸出

- 実施体制あり 364館(26.2%)

職員等による宅配サービス

- 実施体制あり 273館(20.3%)

※n=1,343館
市区町村立図書館のみ

※出典:全国公共図書館協議会が実施した「公立図書館における読書バリアフリーに関する報告書」(令和5年3月)

1,393自治体に調査を行い、1,390自治体から(回収率99.8%)から回答があった。

自治体において図書館を複数設置している場合は、自治体内の全ての館の内容をとりまとめ、分館等のサービス実態も踏まえた回答として、1自治体1館の回答としているため、nを1,390館としている。

政令市図書館の利用状況について

【図書館数】		【蔵書数】		【1人当たり蔵書数】		【貸出冊数】		【1人当たり貸出冊数】	
政令市名	図書館数	政令市名	蔵書冊数 (千点)	政令市名	1人当たり 蔵書冊数	政令市名	貸出冊数 (千冊)	政令市名	1人当たり 貸出冊数
さいたま市	25	大阪市	4,334	静岡市	3.26	横浜市	11,627	さいたま市	6.89
大阪市	24	横浜市	4,086	浜松市	3.13	大阪市	10,667	静岡市	5.65
浜松市	23	さいたま市	3,580	さいたま市	2.67	名古屋市	10,293	岡山市	5.44
名古屋市	21	名古屋市	3,274	岡山市	2.51	さいたま市	9,226	浜松市	5.21
新潟市	19	札幌市	2,667	新潟市	2.42	京都市	6,613	京都市	4.77
横浜市	18	浜松市	2,481	堺市	2.29	川崎市	6,284	新潟市	4.75
京都市	18	広島市	2,279	熊本市	2.24	神戸市	5,875	堺市	4.68
千葉市	15	静岡市	2,227	千葉市	2.20	札幌市	5,475	名古屋市	4.49
北九州市	14	神戸市	2,207	北九州市	2.03	広島市	4,592	熊本市	4.19
札幌市	12	千葉市	2,149	相模原市	2.02	仙台市	4,431	仙台市	4.15
川崎市	12	福岡市	2,045	広島市	1.92	浜松市	4,127	川崎市	4.12
静岡市	12	仙台市	2,000	仙台市	1.87	静岡市	3,863	大阪市	3.89
堺市	12	川崎市	1,930	大阪市	1.58	堺市	3,842	神戸市	3.89
神戸市	12	北九州市	1,886	神戸市	1.46	岡山市	3,818	広島市	3.88
福岡市	12	堺市	1,881	名古屋市	1.43	福岡市	3,754	北九州市	3.37
広島市	11	新潟市	1,870	札幌市	1.36	新潟市	3,675	千葉市	3.29
岡山市	9	京都市	1,866	京都市	1.35	千葉市	3,215	相模原市	3.14
仙台市	7	岡山市	1,762	福岡市	1.29	北九州市	3,130	横浜市	3.10
熊本市	5	熊本市	1,641	川崎市	1.27	熊本市	3,062	札幌市	2.79
相模原市	4	相模原市	1,454	横浜市	1.09	相模原市	2,258	福岡市	2.37
平均値	14	平均値	2,381	平均値	1.97	平均値	5,491	平均値	4.20

出典:「日本の図書館 統計と名簿2023」(日本図書館協会)

※令和3年度実績

※それぞれの数値は各自治体集計による(カウント内容について必ずしも統一されているものではない)

【予約件数】

政令市名	予約件数 (千件)
横浜市	3,491.3
さいたま市	3,144.7
大阪市	2,937.2
名古屋市	2,221.2
京都市	1,980.9
広島市	1,866.3
川崎市	1,862.6
札幌市	1,857.8
神戸市	1,663.0
千葉市	1,220.8
堺市	1,172.3
岡山市	1,033.3
福岡市	984.7
浜松市	910.0
仙台市	909.1
新潟市	904.4
熊本市	640.4
静岡市	617.3
相模原市	604.2
北九州市	98.8
平均値	1,506.0

【1人当たり予約件数】

政令市名	1人当たり 予約件数
さいたま市	2.35
広島市	1.58
岡山市	1.47
京都市	1.43
堺市	1.43
千葉市	1.25
川崎市	1.22
新潟市	1.17
浜松市	1.15
神戸市	1.10
大阪市	1.07
名古屋市	0.97
札幌市	0.95
横浜市	0.93
静岡市	0.90
熊本市	0.88
仙台市	0.85
相模原市	0.84
福岡市	0.62
北九州市	0.11
平均値	1.11

【団体貸出冊数】

政令市名	貸出冊数 (千冊)
大阪市	235
浜松市	228
福岡市	215
広島市	125
新潟市	107
名古屋市	81
神戸市	77
さいたま市	69
岡山市	50
堺市	46
熊本市	41
札幌市	40
北九州市	40
川崎市	28
横浜市	24
仙台市	23
静岡市	20
京都市	19
千葉市	13
相模原市	11
平均値	74.60

【図書館費】

政令市名	3年度決算額 (千円)
横浜市	1,603,877
大阪市	1,502,877
神戸市	1,469,729
浜松市	1,274,666
名古屋市	1,132,368
福岡市	1,129,482
さいたま市	993,862
札幌市	944,577
北九州市	893,655
千葉市	809,444
京都市	757,455
川崎市	717,698
新潟市	650,666
相模原市	584,335
広島市	561,042
堺市	549,711
仙台市	518,933
静岡市	447,296
岡山市	438,116
熊本市	377,551
平均値	867,867

【1人当たり図書館費】

政令市名	1人当たり 図書館費(円)
浜松市	1,608.0
神戸市	972.7
北九州市	961.5
新潟市	840.7
千葉市	828.5
相模原市	812.6
さいたま市	742.1
福岡市	714.2
堺市	669.2
静岡市	654.2
岡山市	624.1
大阪市	548.2
京都市	546.8
熊本市	516.1
名古屋市	493.4
仙台市	486.1
札幌市	482.0
広島市	473.6
川崎市	470.9
横浜市	427.3
平均値	693.6

【資料費】

政令市名	3年度決算額 (千円)
神戸市	279,109
横浜市	276,504
大阪市	198,104
名古屋市	188,848
京都市	188,833
さいたま市	162,069
仙台市	137,479
静岡市	132,664
福岡市	126,880
岡山市	120,548
広島市	113,961
浜松市	105,010
札幌市	102,467
川崎市	97,730
新潟市	94,426
堺市	92,292
熊本市	89,516
北九州市	80,454
千葉市	74,457
相模原市	54,499
平均値	135,793

【1人当たり資料費】

政令市名	1人当たり 資料費(円)
静岡市	194.03
神戸市	184.73
岡山市	171.72
京都市	136.32
浜松市	132.47
仙台市	128.79
熊本市	122.38
新潟市	122.01
さいたま市	121.01
堺市	112.36
広島市	96.19
北九州市	86.57
名古屋市	82.29
福岡市	80.23
千葉市	76.21
相模原市	75.79
横浜市	73.66
大阪市	72.26
川崎市	64.13
札幌市	52.29
平均値	109